

早稻田學報

大正八年 第貳百八拾八號 二月十日發行 每月一十日發行

本號目次

校報

森村男爵終身維持員就任——講師囑託——定期維持員會——授
業開始——事務開始——科外講義——理工科講師會——高等豫
科教授會——贊助會申込引續盛況——本大學出版部
の組織變更——判檢事試驗及第者——辯護士試驗及第會——
支那朝鮮視察報告——圖書館報告——工手學校の授
業終了並に卒業學期試驗

校友會報

校友會規則改正委員會——校友會幹事會——寅商會忘年會——
寅商會親睦會——名古屋校友會——中越校友新年會——松本會
新年會——校友動靜

會合

高等豫科教職員懇親會——工手學校主任會——江庸莊環珂氏等
招待會

雜報

大隈總長の歸京——總長大隈侯爵家墳墓に本大學寄贈の石燈籠
竣成す——永樂俱樂部消息——私立大學學長會——青
柳教授の地方講演——北澤教授の講演——高橋講師の講演——
林評議員逝去

校友會維持費齎出人名

東京牛込

早稻田大學校友會

電話號碼三五〇〇番

東京總發售處
八八九六番

校報

●森村男爵終身維持員就任 男爵森村市左衛門氏大隈總長の推薦に依り、本大學修身維持員に就任せられたり。

●講師囑託 今回法學士杉程次郎氏を講師に聘し、貨幣及銀行論の教授擔任を囑託せり。

●定期維持員會 一月十五日午後二時恩賜館會議室に於て定期維持員會を開き、大隈會長、澁澤男爵、松平伯爵、平沼淑郎、三枝守富、山田英太郎、昆田文次郎、淺野應輔、鹽澤昌貞、田中穂積、中島半次郎、松平康國各維持員諸氏出席。協議決定する所ありて散會せり。

●授業開始 冬季休校終了に就き一月十一日一般授業を開始せり。

●事務開始 前項の如く授業開始に就き一般事務は一月十日より開始したり。

●科外講義 一月中一般學生の爲め、左の科外講義を開催したり。

▲一月十五日(水) 午後三時講堂に於いて選舉權擴張論 衆議院議員 島田 三郎氏

▲一月廿二日(水) 午後三時講堂に於いて浦鹽に於ける聯合軍の瞥見 陸軍大學教授 岡田 哲藏氏

▲一月廿九日(水) 午後三時講堂に於いて我國の共濟組合に就いて 教 授 安部 磯雄氏

●理工科講師會 一月十五日(水)午後五時恩賜館會議室に於いて理工科講師會を開き、學科配當其他の件に就き協議決定する所ありたり。

●高等豫科教授會 一月廿一日午後三時より恩賜館會議室に於いて開催し、未濟試驗其他の件に付協議する所ありたり。

●賛助會申込引續き盛況

前號校報欄所記の如く我早稻田大學賛助會に對する校友諸君子を始めとし滿天下の同情引續き旺盛にして、今や申込人員五百五十名を超え口數幾んど二千口に達せんとす、是れ寔に本大學の感謝に堪えざる所にして前號所報以後の申込口數芳名左の如し。

申込口數 府縣 氏名

一、	一〇口	東京	早連 整爾殿	二口	東京	小久江成一殿	一口	上海	田中 淳一殿
一、	一〇口	大阪	紫安新九郎殿	二口	同	種村 宗八殿	一口	同	小林 重平殿
一、	一〇口	東京	鈴木 寅彦殿	二口	同	大澤 慶作殿	一口	北海道	京谷勇次郎殿
一、	一〇口	同	三枝 守富殿	二口	同	降旗 音吉殿	一口	栃木	重井平四郎殿
一、	一〇口	同	降旗元太郎殿	二口	同	田川 道英殿	一口	同	牛島 隆殿
一、	五口	同	瀧 清殿	二口	長崎	蘆田 安一殿	一口	兵庫	藤井 卓殿
一、	五口	同	反町 茂作殿	一口	大阪	下斗米 潔殿	一口	東京	尾形龜五郎殿
一、	五口	上海	田中小太郎殿	一口	秋田	川崎由三郎殿	一口	同	山内 毅殿
一、	三口	東京	清水 淑平殿	一口	兵庫	西村 正安殿	一口	朝鮮	藤沼 龍一殿
一、	三口	同	酒井 醇一殿	一口	群馬	濱名 孝殿	一口	茨城	鎌富 修三殿
一、	三口	同	金子 馬治殿	一口	東京	今井 孝暉殿	一口	新潟	菅野 忠恕殿
一、	三口	同	中村 進午殿	一口	兵庫	高廣政之助殿	一口	大連	宮坂 庸三殿
一、	三口	同	中島半次郎殿	一口	富山	田村 肇殿	一口	東京	宮谷 公雄殿
一、	三口	同	松平 康國殿	一口	東京	菊池 喜一殿	一口	兵庫	八木 豪殿
一、	三口	同	曲山 公平殿	一口	同	高崎順一郎殿	一口	東京	永井 勝藏殿
一、	二口	埼玉	片山 昂殿	一口	同	池上 米治殿	一口	山口	厚 東太郎殿
一、	二口	同	横山 源助殿	一口	同	福原雄之助殿	一口	東京	野村綱治郎殿
一、	二口	同	堀内七十郎殿	一口	同	高橋 八郎殿	一口	兵庫	佐藤 魁一殿
一、	二口	同	磯部倫一郎殿	一口	同	伊達 充邦殿	一口	東京	市川 繁彌殿
一、	二口	同	林 癸未夫殿	一口	同	鹽田 脩吾殿	一口	同	中村 鎮殿
一、	二口	同		一口	同	山崎 九市殿	一口	福岡	阿部 録郎殿
一、	二口	同		一口	同	武田 正夫殿	一口	岡山	古川 隼人殿
一、	二口	同		一口	同	溝口 伴六殿	一口	大阪	犬飼 健藏殿
一、	二口	同		一口	同	岡野 董殿	一口	同	豐田 武安殿
一、	二口	同		一口	同	大東直太郎殿	一口	北海道	村田榮次郎殿
一、	二口	同		一口	同	奥田保三郎殿	一口	大阪	新谷 賦殿
一、	二口	同		一口	同	寺尾 熊次殿	一口	兵庫	地主三之丞殿
一、	二口	同		一口	同	吉川 秀人殿	一口	同	松田 毅殿
一、	二口	同		一口	同	淺川 保平殿	一口	同	高塚謹四郎殿
一、	二口	同		一口	同	根來 隆三殿	一口	同	粟津 榮藏殿
一、	二口	同		一口	同	松原 達藏殿	一口	同	原 幸吉殿
一、	二口	同		一口	同	小出 富治殿	一口	同	日野 威殿
一、	二口	同		一口	同	大和田 稔殿	一口	同	足達 猛殿

一口	滿洲	角逸三殿	一口	朝鮮	金性洙殿	一口	臺灣	丸山傳殿	一口	大阪	村野藤吉殿
一口	朝鮮	俞相兼殿	一口	東京	今宮芳太郎殿	一口	大坂	橫山包隆殿	一口	山形	白根澤英一殿
一口	大連	佐賀七郎殿	一口	同	間庭隆一殿	一口	愛媛	坂本公徳殿	一口	東京	山本愿太殿
一口	東京	守屋福市殿	一口	大連	鈴木與十郎殿	一口	長崎	今西忠知殿	一口	同	加藤幸吉殿
一口	大阪	北川龜三郎殿	一口	岡山	中村純一郎殿	一口	東京	江上志馬雄殿	一口	同	田邊一雄殿
一口	長野	中島喜悅殿	一口	朝鮮	安武千代吉殿	一口	臺灣	柴田稔殿	一口	同	國島和十郎殿
一口	新潟	岡田彌一郎殿	一口	東京	丹尾磯之助殿	一口	岡山	土屋光次郎殿	一口	兵庫	山本篤一郎殿
一口	栃木	見田清殿	一口	滿洲	藤崎四郎殿	一口	新瀉	三田村太一郎殿	一口	東京	平野二郎殿
一口	宮城	鳥越正三殿	一口	北海道	葛西民也殿	一口	愛知	渡邊芳樹殿	一口	愛知	村上知祥殿
一口	北海道	中島三郎殿	一口	東京	辻一棧殿	一口	福岡	重松善一殿	一口	東京	里見春次郎殿
一口	東京	恒川吳作殿	一口	新潟	土田元郎殿	一口	上海	伊東英保殿	一口	同	田村保殿
一口	兵庫	佐藤芳信殿	一口	同	桑野確次殿	一口	朝鮮	石井東作殿	一口	愛知	高柳勝治殿
一口	東京	大松藤吉殿	一口	同	川上法勸殿	一口	福岡	辻村良衛殿	一口	廣島	藤澤文一郎殿
一口	大阪	馬屋原勝殿	一口	同	廣島一郎殿	一口	兵庫	神尼茂殿	一口	朝鮮	久保義美殿
一口	大阪	原田梁二郎殿	一口	同	安倍邦吉殿	一口	熊本	小宮義壽殿	一口	北海道	橫田瀧三郎殿
一口	北海道	澤田信太郎殿	一口	同	鈴木貫一郎殿	一口	東京	吉田賢治殿	一口	靜岡	鈴木逸平殿
一口	長崎	田所繁治殿	一口	同	小黒作十郎殿	一口	靜岡	小野俊三殿	一口	大連	岩波春海殿
一口	朝鮮	高須三雄殿	一口	同	廣木賢齋殿	一口	長崎	萩原民治殿	一口	東京	和泉慶三殿
一口	大阪	南彦朝殿	一口	同	篠田喜四郎殿	一口	福岡	小川寅六殿	一口	新瀉	宮林元殿
一口	朝鮮	孫永高殿	一口	同	上野喜永次殿	一口	福岡	川邊秀次郎殿	一口	同	藤田榮輔殿
一口	大阪	清住義磨殿	一口	同	味方利造殿	一口	靜岡	大箸篤平殿	一口	同	小林喜助殿
一口	東京	筋瀨徳松殿	一口	同	丸山新十郎殿	一口	愛知	赤川盛一殿	一口	同	立川秀司殿
一口	秋田	石倉敏良殿	一口	同	吉邨榮藏殿	一口	臺灣	黒木清介殿	一口	宮崎	宮下秀一殿
一口	秋田	田口謙藏殿	一口	同	野澤卯市殿	一口	秋田	新田憲弘殿	一口	東京	片山雄吉殿
一口	靜岡	大川英三殿	一口	同	高橋銳二殿	一口	大阪	岸本丑松殿	一口	石川	東與三三殿
一口	大阪	大坪徹心殿	一口	同	清水脩策殿	一口	岐阜	林善次殿	一口	兵庫	上田榮吉殿
一口	愛知	堀重三殿	一口	同	飯村俊二殿	一口	大分	後藤光和殿	一口	青島	空閑知鷺治殿
一口	宮崎	赤澤虎之助殿	一口	同	今川幸吉殿	一口	朝鮮	木下洪堂殿	一口	兵庫	長瀬虎五郎殿
一口	栃木	清水隆殿	一口	同	山瀬壽一殿	一口	京都	吉田揆一殿	一口	朝鮮	金英鎮殿
一口	山口	青柳宗平殿	一口	東京	上田晴雄殿	一口	兵庫	飯島徳次殿	一口	高知	山田直殿
一口	愛知	高木常七殿	一口	長野	林純一郎殿	一口	大阪	山口博殿	一口	高知	杉本貞一殿
一口	北京	太田宇之助殿	一口	北海道	勝又敏彦殿	一口	支那	香山安之助殿	一口	大阪	栗村實殿
一口	北海道	柳田鐵三殿									

一口	廣島	高島 徹殿
一口	朝鮮	天野 行武殿
一口	東京	齋藤時之助殿
一口	宮城	佐藤十二郎殿
一口	新潟	神田源次郎殿
一口	愛知	辰巳 重彬殿
一口	支那	佐竹勇一郎殿
一口	兵庫	白崎 政雄殿
一口	同	稻村 實殿
一口	岐阜	松岡勝太郎殿
一口	靜岡	太田 旭殿
一口	大阪	小田 勝次殿
一口	同	小林儀三郎殿
一口	東京	大聲 誠三殿
一口	同	岩淵 澄夫殿
一口	靜岡	矢作 健殿
一口	廣島	水川 靜一殿
一口	臺灣	西井 行一殿
一口	群馬	竹中 正雄殿
一口	長崎	中島 復殿
一口	滿洲	中田 富男殿
一口	北海道	大東 藤吉殿
一口	兵庫	富岡 義則殿
一口	同	加藤吉兵衛殿
一口	沖繩	伊江 朝助殿
一口	大連	徳永義太郎殿
一口	東京	八木 勤作殿
一口	大阪	三田村甚十郎殿
一口	大連	渡邊 壽殿
一口	漢口	岡崎 茂穂殿
一口	北海道	中村 節雄殿
一口	福岡	加藤 嘉彦殿
一口	東京	森脇 美樹殿

一口	兵・庫	大路 護殿
一口	樺太	北村 勤殿
一口	千葉	中村 君雄殿
一口	臺灣	田中 義一殿
一口	東京	長田 善平殿
一口	同	中村 有一殿
一口	同	浦田 正名殿
一口	兵庫	中村憲太郎殿
一口	東京	川上 又次殿
一口	東京	後藤五郎右衛門殿
一口	新潟	古谷野喜三郎殿
一口	東京	久保田敬之助殿
一口	大阪	木山 十彰殿
一口	東京	香山 幸三殿
一口	和歌山	田部井愛三郎殿
一口	東京	今橋 稔一殿
一口	同	宮島 文藏殿
一口	同	江崎 準繩殿
一口	臺灣	小野 義夫殿
一口	東京	尾原 始殿
一口	東京	(以下次號)

大正七年	大學出版部の組織變更、開催の木大學維持員會に於ては、出版部の組織を變更して、資本金拾萬圓拂込(株式貳千株)の株式會社となし、株式會社早稲田大學出版部と稱することを承認し、且つ從來同部よりの納附金を廢し、株式六百株を引受くることを可決したるを以て、出版部は直に會社組織に着手し同月十九日創立總會を開き二十三日名社設立の登記を爲したり。
大正七年	度施行の判檢事試験に及第せる者左
大正三年	專門部法律科卒業 小 林 定 雄
大正三年	專門部法律科卒業 内 山 秀 吉
大正三年	專門部法律科卒業 梅 野 茂
大正三年	專門部法律科卒業 川 合 安 朗
明治三十六年	邦語行政科卒業 岡 本 駒 之 助
大正六年	專門部法律科卒業 山 本 敏 雄
大正六年	大學部法學科卒業 中 村 宗 雄

支那朝鮮視察報告

大陸旅行で面接した校友諸君一
講師 清水泰次

令回は、大正七年六月下旬から九月下旬まで朝鮮支那を順次に廻りました。書物で親炙した史蹟を訪れる其だけでも愉快は盡きません。まして此等の大陸を舞臺に運命を開拓し國運を扶翼せらるゝ人達——殊に稻門の出身諸君に面接したのであるから愉快は正しく絶頂であります。恐らく歐米諸國へ行つても斯う云ふ愉快は覺束なからうと思ふ。

二
稻門出身は主として實業方面に多い。と申しましたも京城李王職の權藤四郎介氏奉天總領事館の山崎恒四郎氏、滿鐵では大連の唯根伊與氏長春の獅子内謹一郎氏の如き皆官界方面に氣を吐いて居られる。また今は大連で辯護士をして居らるゝ、五泉賢三氏も前に關東都督府の官場に令名あつた事を付け加へて置きたい。然し何れかと云へば實業方面に指を屈せねばならぬ。大邱では商業會議所會頭の吉村鎮雄氏朝鮮輕便鐵道會社取締役の鈴木熊太郎氏京城では東洋拓殖會社理事の川上常郎氏朝鮮公論社長長の牧山耕藏氏平壤では百三十銀行支店長の松崎久氏奉天では倉庫金融會社長の石田武亥氏朝鮮銀行出張所長の小西春雄氏大連では鑛業會社長の永田善三郎氏漢口では三菱支店長の市吉徹夫氏黃泰洋行主の小川愛次郎氏上海では増田洋行支店長の清水湖平氏それぞれに大陸實業社會を縱斷する錐々たる人達である。勇將の下に弱卒なく此等の蕭何張良韓信を後楯とせる校友諸君は各々潑刺たる奮闘を續け居られ傍に見る目も笑に細まる程であります。例へば上海の増田洋行の如き殆ど校友を以つて滿さるゝ、有様此程でなくと

も其等人達の配下には必ず四五の校友が居られまた居らるべき筈で陰に陽に稻門の原野を開拓して居られる、かうして今や稻門の勢力は野に蔓こり原を蔽うて大陸到る處に校友を見ない事はない、汽車で話し出せば私も早稲田の出身だと申されるし會社で遇へば今日の校友會でまた御目にかゝりましよう云はれる更に先生の教授を受けましたと切り出さるゝに及んでは校門の多數こゝに至るかと暫し感慨に啞然たる次第であります。

三

物質的方面のみでない、精神的方面にも思ひ設けぬ活動を見受けた。大邸のステーションに下りたらば史學科出身の名札を出され京城の中學校を訪問すると貴殿の學校を卒業された御方が奉職ですと引き合され又平壤でも史學科の校友が會に來られた程に盛であります。かく朝鮮の教育方面にたづさはる人達は尠くないが滿洲に入ると流石に寂しい。其代り宗教方面に意外の活動をなし居られるのを眺めて私はかねがね羨望して居た歐米諸國の宣教師を目の當りに見る心地致しました。ハルピンの本願寺出張所の押野慶淨氏大連の本願寺開教使の芳原慶壽氏の如きは殊に其代表者であります。進んで上海の東亞同文書院で教頭の森茂氏に遇つた時同院の抱負と活動を聞いて文科の使命が非常に廣大で未だ十分一も開拓されて居らないとつくづく感じました。

文科出身の前途は單調ではありません、己れと己れの道をわざ／＼狭めて世の中の外縁をコソソリ歩く要は毛頭ない、大道の眞中を足並揃へてもつと力強く進んで下さい。歐米

の文化を輸入したらば加工して東洋の諸國に散布して貰ひたいのである、海綿の如に吸收する力を持つて居ても自ら吐き出す力を持たないのでは困りますから。

四

校友の活動を見るのも愉快であるが一夕盃を舉げて互の活動を祝するのにも愉快である、多忙な活動と斯足の旅行と落合ふ事であるから成る可く遠慮しましたが夫でも朝鮮での入口と出口支那での始と終は逆も辭退する氣持になれなかつた。大邸では日程を變へさせられて吉村鈴木宮井の三氏と會合し平壤では松崎氏の招宴で會根板倉木村の諸君と會談致しました。聽雨の清遊と江畔の雅遊につけても校友諸君の好意は永く忘れられせん。奉天では折柄來奉の庭球部選手諸君と同列で日支校友の盛宴に参加した事として、上海で柏原代議士と共に校友に歓迎された折と同じく非常な賑でありました。奉天上海の兩校友會は既に學報にも掲載されてありますから再び芳名を繰り返さないが京城明月樓で高論を拜聽せる朝鮮出身の校友——金性洙・鮮干全・申翼熙・崔斗善・尹弘燮・金明植・李丙壽・朴勝誦の芳名を列記して忙中に閑を求めて東方の遊子を慰藉せられたるを深く謝したいのであります。

五

校友諸君の好志頗る厚いのに對しても、私は茲に二條の註文を附添えねばならない。(1)各地方別校友會名簿——校友會支部がある以上は會員芳名も當事者に知られて居やうが門外漢には悉皆わからぬ、途中で名乗られてさう云ふ御方が御出ででしたかでは校友の聯絡から見ても面白くない、いや其位でな

くサテ此の地方に誰と誰が居るだらう居る筈だと詮議するに至つては聯絡どころか寧ろ没交渉である、そこで本部と地方と呼應して會員の移動を一目瞭然にして置く必要と理由は充分にあるのであります。

(2)本部と地方との關係——校友の活動は自身の興味であらうが此に對して相當の敬意と慰藉を拂ひ勞はる決して外事であるまい、内地では至極圓滑に運んで名士を本部から簡派する事も多いが海外へは殆どないと言ふべきである。數年以前に只一度故吉田博士田中博士の渡鮮を迎へたるのみで甚だ心細い、其目的其價值其効果は明言を待たで了解ある事に思ひます。

略述によつて大陸に於ける校友諸君の動靜を略解せられたであらう、然し本學の教旨を發展せしむるは今後に待つ處頗る大であるから宜しく其機を失せぬ様に願ひたい。(二九一九・二二六)

圖書館報告

大正七年十月より十二月に至る閱覽人員貸出圖書數及新加圖書左の如し。

▲十月分

開館日數 二十六日

種別 閱覽人員

學生貸出 一四、二三一

特別貸出 六三

館外貸出 一六五

公衆貸出 一七一

合計 一四、六三〇

一日平均 五六二・六九

貸出圖書數

二六、六二七

一四七

六三七

四七九

二七、八九〇

一、〇七二・六九

●圖書新加月報 本館十月分新加圖書は總計

二百二部三百十八冊にして、内洋書百四十二部百七十一冊和漢書五十六部百四十七冊なり。之を細別すれば左の如し。

洋書新加統計表

部	購入		贈		合計
	部數	冊數	部數	冊數	
A 歴史傳記	二	二			二
B 法律	五	五			五
C 哲學	五	五			五
D 政治	一四	一四	三	三	一七
E 經濟財政	七	七	三	三	一〇
F 文學	五	五			五
G 語學	三	三			三
H 地理、紀行	二	三			三
I 教育	一〇	二			一二
J 心理、倫理	四	四			四
K 理學、工學	四	七			一一
L 社會學	一四	一五			二九
M 美術工藝					
N 宗教	一	一			二
P 辭書	一	一			二
Q 統計報告					
R 露語圖書					
T 商業交通	九	九			九
U 兵事	一	一			二
Z 圖書館書史學	一	一			二
合計	一三	一五	一三	一三	一四六

和漢書新加統計表

部	門	購入	寄贈	合計
伊	歷史、傳記	一	二	三
呂	地理、紀行	一	一	二
波	宗 教	四	五	九
仁	哲學、倫理	四	二	六
保	法 律	三	三	六
邊	政 治	三	一	四
登	經濟、財政	一	一	二
知	統計、報告	一	四	五
利	國 文 學	一	五	六
奴	理 學	一	一	二
留	教 育	一	一	二
遠	小 說	一	一	二
和	支那文學	一	一	二
加	字書、語學	一	二	三
與	外國文學	一	二	三
多	美術、工藝	一	二	三
連	產 業	一	二	三
曾	隨筆、叢書	一	二	三
津	體操、遊戲	一	二	三
真	兵 事	一	二	三
武	醫 學	一	二	三
編	新聞雜誌	一	二	三
奈	教科書	一	二	三

合 計 元 七 五 二 七 五 二 七

▲十一月分

開館日數 二十八日
 種 別 閱覽人員
 學生貸出 一三、六二二
 特別貸出 五九
 館外貸出 一七七
 公眾貸出 二五五
 合計 一三、六五三
 一日平均 四八七・六〇
 ●圖書新加月報 本館十一月分新加圖書は總計二百七十七部三百六十九冊にして、内洋書百十部百二十二冊和漢書百六十七部二百四十七冊なり。之を細別すれば左の如し。

洋書新加統計表

部	門	購入	寄贈	合計
A	歷史、傳記	八	八	一六
B	法 律	七	八	一五
C	哲 學	三	二	五
D	政 治	一七	一八	三五
E	經濟、財政	四	四	八
F	文 學	一四	一五	二九
G	語 學	一	一	二
H	地理、紀行	四	四	八
I	教 育	六	六	一二
J	心理、倫理	五	五	一〇
K	理學、工學	三	三	六

部	門	購入	寄贈	合計
L	社會學	九	九	一八
M	美術、工藝	一	一	二
N	宗 教	四	四	八
P	辭 書	二	二	四
Q	統計、報告	二	二	四
R	露語圖書	一	一	二
T	商業、交通	三	三	六
U	兵 事	三	三	六
Z	圖書館學	一	一	二
合 計		一〇九	一一〇	二一九

和漢書新加統計表

部	門	購入	寄贈	合計
伊	歷史、傳記	一	一	二
呂	地理、紀行	一	一	二
波	宗 教	一	一	二
仁	哲學、倫理	一	一	二
保	法 律	一	一	二
邊	政 治	一	一	二
登	經濟、財政	一	一	二
知	統計、報告	一	一	二
利	國 文 學	一	一	二
奴	理 學	一	一	二
留	教 育	一	一	二
遠	小 說	一	一	二

▲十二月分

開館日數 二十八日
 種 別 閱覽人員
 學生貸出 七、九六五
 特別貸出 四四
 館外貸出 一三三
 公眾貸出 三〇五
 合計 八、四四七
 一日平均 三〇一・六七
 ●圖書新加月報 十二月分新加圖書は總計百九十部七百九十一冊にして、内洋書百二十四部百三十一冊和漢書六百六十六冊六十冊なり。其細別左の如し。
 ●紀念寄贈書 故前評議員黒川九馬氏紀念のため未亡人ゆう子女史より金三十圓を圖書購入費として本館へ寄贈せられたり。謹で其厚意を謝す。

部	門	購入	寄贈	合計
和	支那文學	二	二	四
加	字書、語學	六	六	一二
與	外國文學	二	二	四
多	美術、工藝	一	一	二
連	產 業	一	一	二
曾	隨筆、叢書	一	一	二
津	體操、遊戲	一	一	二
真	兵 事	一	一	二
武	醫 學	一	一	二
編	新聞雜誌	一	一	二
奈	教科書	一	一	二
合 計		七	七	一四

洋書新加統計表

部	門	購入	寄贈	合計
伊	歴史、傳記	四	九	一三
部	部數冊數	部數冊數	部數冊數	部數冊數
合	計	二二	二六	四八
Z	圖書館書史學	一	一	二
U	兵事	二	二	四
T	商業交通	四	四	八
R	露語圖書			
Q	統計報告			
P	辭書	二	二	四
N	宗敎	三	三	六
M	美術工藝	三	三	六
L	社會學	三	三	六
K	理學、工學	三	三	六
J	心理、倫理	三	三	六
I	敎育	一〇	一〇	二〇
H	地理、紀行	三	三	六
G	語學	三	三	六
F	文學	一三	一三	二六
E	經濟財政	九	九	一八
D	政治	九	九	一八
C	哲學	一	一	二
B	法律	四	四	八
A	歴史傳記	六	六	一二

和漢書新加統計表

部	門	購入	寄贈	合計
伊	歴史、傳記	四	九	一三
部	部數冊數	部數冊數	部數冊數	部數冊數
合	計	二二	二六	四八

部	門	購入	寄贈	合計
呂	地理、紀行	七	三五	四二
波	宗敎	四	三四	三八
仁	哲學、倫理	五	三七	四二
保	法律	九	二六	三五
邊	政治	五	二七	三二
登	經濟、財政	八	二九	三七
知	統計、報告			
利	國文學	一	二	三
奴	理學	一	二	三
留	敎育			
遠	小説	二	三	五
和	支那文學			
加	字書、語學	二	二	四
與	外國文學	二	二	四
多	美術、工藝	三	三	六
連	產業	一〇	一三	二三
曾	隨筆、叢書	二	三	五
津	體操遊戲			
具	兵事			
武	醫學			
彌	新聞雜誌			
奈	敎科書	六	六五	七一
合	計	六	六五	七一

授業終了、同二十二日より廿七日迄卒業及學期試験を施行したり。

校友會報

●校友會規則改正委員會 一月十八、二十一日兩日に互り、校友會規則改正委員會を廻町區永樂町永樂俱樂部に開き、兩日とも午前十一時より午後六時頃まで審議を悉くし、先般來の懸案たる校友會規則改正原案を議了したり。出席委員左の如し。

第一回(十八日)出席氏名(次第不同)

- 山田 英太郎 昆田 文二郎 渡邊 亨
- 田中 穂積 早速 整爾 増田 義一
- 上原 鹿造 齋藤 隆夫 若林 成昭
- 大橋 誠一 石橋 湛山 松山 忠二郎
- 橋本 貞藏 西岡 竹次郎

第二回(廿一日)出席氏名(次第不同)

- 平沼 會長 田中 穂積 山田 英太郎
- 松山 忠二郎 大橋 誠一 石橋 湛山
- 増田 義一 渡邊 亨 西岡 竹次郎
- 若林 成昭 橋本 貞藏 昆田 文二郎

●校友會幹事會 一月二十五日午後五時より廻町區永樂俱樂部に於いて校友會幹事會を開き、

- 一、春季校友大會を二月十六日午後一時より築地精養軒に於いて開催の件
- 一、前項委員會議決の校友會規則改正案を大會に提出して之れが承認を求むる件
- 一、大正七年度決算報告の件
- 一、推選校友證衡の件

等を協議決定の上散會せり。出席諸氏左の如し。

- 平沼 會長 早川 徳次 關 順一郎
- 山田 末吉 石澤 久五郎 堀川 直吉
- 並木 覺太郎 杉田 金之助 小汀 利得
- 田中 穂積 前田 多藏 森 盛一郎
- 田中 小太郎 石井 政吉 徳永 重康
- 西岡 竹次郎 杉田 駿 (位次不同)

●寅商會忘年會 大正三年の商科出で、京濱間に在任して居る者に依つて組織されて居る寅商會は、十二月七日の夜、四谷見附の三河屋で、忘年の意味で例會を開きました。互に楽しい追想を語りながら、思はずも時を過し、思ひ／＼に散會した時分には外濠の夜は、電車に青に更けて居ました。出席者は

- 大野 垣禎一 吉岡 正夫 森川 尙
- 坂本 精一 大川 八郎 石黒 尙
- 翁 支旨 神谷祐一郎 坂本 武彦
- 久具 弘勝 鶴田 秀六 下條 親雄
- 大村 隆行 町田 岐 長谷川光太郎

●寅商會親睦會 大正三年度商科卒業生より成る寅商會親睦會を一月二十五日日本橋魚河岸料理にて開催す。來會者十名。近頃無き盛會なりき。來會諸氏左の如し。

- 濱口 麟藏 大村 隆行 翁 支旨
- 神谷祐一郎 太野垣喜三 坂本 精一
- 高地安太郎 長谷川光太郎 森川 尙
- 石黒 尙

●名古屋校友會 一月十三日午後五時より例年の通り新年宴會を開催す。開會前犬伏節轉氏立ち一年間幹事たりし黒澤昇治門田康記兩氏大阪東京へ轉任に付新年宴會と共に兩氏送別會を舉行し度由を述べ、賛成を得て開宴。黒澤幹事開會辭を述べ任期満了に付後任幹事を成瀬初太郎小林八百吉犬伏節轉の三氏に委

囑及物價騰貴の爲毎月會費五拾錢に値上げの件を議り満場一致賛同を得。次で上遠野評議員學校の近況を述べらる。蓋の數重なるに連れ會員の隱憂百出し、都の西北の聲四方に起り、大盛會裡に散會せしは十一時頃なりき。出席者左の如し。(次第不同)

- 松岡 敬三 白石 勝彦 橋本 善一
- 赤田 盛一 水野日出夫 竹田嘗一郎
- 有吉 太郎 久野 眞苗 山田 義博
- 成瀬初太郎 村木己之助 大矢 史郎
- 浦部 章三 森本金十郎 上遠野宮之助
- 犬伏 節輔 鬼頭 俊造 佐藤 祖道
- 水野 申三 青木 郁三 稲田 克己
- 小林八百吉 神戶 正學 前田雄之助
- 加藤泰治郎 須野崎文彦 小山 松壽
- 岡島三木太郎 奥田 四郎 伏屋 秀雄
- 門田 康龍 黒澤 昇治 遠藤 慈請
- 佐野 元温 千田 憲三 泉館 家稔
- 清水 清 永田 嘉市 村瀬 李磨
- 鈴木 正峻 佐藤 忠順 上遠野 孝
- 山口秀治郎 三戸 春造 神原 信一
- 田中 道夫 山本鏡次郎 山本 且
- 堀田 健次 山地寅太郎 青木 秀彦
- 塚本 義郎 絹川 太一 江藤 清語

似て興を添へ、次回幹事に山口健藏、正山敏雄、下田實の三氏を推薦し、盛會裡に十一時頃散會せり。

●松本會新年宴會 松本中學校、松本商業學校出身者にして本大學に學ぶ者三十三名は、松本會を組織し、會長に田中穂積博士を戴き隨時會合を催しつゝ、あるが、偶々會員の冬季休業にて歸省せるを機とし、松本平在在の先輩にも案内を發し、一月五日午後五時より淺間温泉小柳の湯に新年宴會を催したり。出席者左の如し。

- 先輩校友
- 降旗元太郎(代議士) 竹内徳太郎(實業)
- 吉江達郎(吉江銀行) 小高義一(日本鐵業)
- 來賓
- 丸山梧樓(信濃日報社)
- 在校生
- 赤澤喜久雄 降旗 徳彌 平林勝太郎
- 平林 基 市川 清 松田治一郎
- 増田甲子七 百瀬 唯一 百瀬 義雄
- 遠山 正孝

幹事開會の挨拶について南信校友會復活の提議あり。一同協議の上左記事項を議決し、後ち降旗元太郎氏は早稲田大學と大隈侯爵との關係に就き熱烈なる談話を試みられたり。

決議事項

- 一、早稲田大學南信校友會を復活し併せて便宜上、松本市及び安鏡四郡の校友部會を開く事。
- 一、南信校友會大會を來八月松本市に開き併せて母校の諸先生を招待して學術講演會を開く事。
- 一、右に關する一切の準備は、在校々友及

び在郷校友より各二名宛互選したる委員に一任する事。
尚ほ在郷校友よりの委員に竹内徳太郎、吉江達郎の二氏を選舉し、在校々友よりの委員は追て選舉の上在郷校友に通知する事とし酒宴に移り、出席者の名乗り校歌の合唱あり。一同歡を盡し午後九時散會せり。

校友動靜

- 校友諸氏の動靜左の如し。
- 丸山宗次郎(三八政) 關東都督府屬關東都督府技手(旅順市級島町三丁目番外一)
- 田中信彦(三政) 東洋經濟新報記者(牛込區余丁町一〇五)
- 渡邊長太郎(七政) 米國ノースカロライナ州立大學經濟科入學(Box 412, Chapel Hill, North Carolina, U.S.A.)
- 渡部 任(三八政) 淺野物産會社勤務(四谷區荒木町二七)
- 伊藤重次郎(三六英政) 神戸市相生町山下汽船會社に轉勤(同會社參事、同市熊内町二十八番屋敷ノ三)
- 平井實造(七政) 歩兵第三十七聯隊第十中隊に入營
- 和氣輝太(三八政) 廣島市紙屋町大同生命保險會社支店に轉勤
- 淺見英吉(五政) 仁壽生命保險株式會社勤務(府下品川町淺間番二六四)
- 瓜生卓爾(三八大政) 西部鐵道管理局勤務(兵庫縣武庫郡須磨町東須磨寺町一六)
- 古市敏雄(二政) 大阪市東區今橋三丁目古河銀行大阪支店に轉勤
- 津田弘季(三六英政) 大阪商船會社社員(大阪市南區天王寺勝山通二ノ五八九六)

- 海峯彦三郎(七政) 大倉商事株式會社營業部に轉勤
- 山下正一(四一大政) 廣島日本銀行支店勤務(廣島市大手町八ノ二五)
- 波部英三郎(七政) 明治生命保險會社社員(小石川區高田豐川町四三登井方)
- 大橋 榮(七政) 本大學研究科在學(牛込區鶴卷町二五三小澤方)
- 飯田利信(七政) 北日本汽船會社社員(小樽區花園町四二丁目)
- 二島菊次郎(四〇政) 大阪朝日新聞記者(攝津武庫郡大庄村西字南川端六〇五)
- 磯部眞雄(七政) 南滿洲鐵道會社勤務(南滿洲遼陽ハ區一號有眞察内)
- 黒木 茂(四二大政) 宮崎町旭通日州新聞社客員となる(同町宮田町)
- 兒島英後(五大政) 赤坂區溜池町三〇共同商事株式會社勤務
- 瀧山良一(三七英政) 大阪市電氣鐵道部に轉勤(同市市外天下茶屋五九九)
- 齋藤登作(七政) 栃木縣上都賀郡鹿沼町帝國製麻株式會社製品工場勤務
- 松尾茂男(四政) 大阪市南區寶壽寺町株式會社二十三銀行大阪支店に轉勤
- 森 七郎(三七政) 中島鐵業株式會社に入り佐賀縣杵島郡大町村佐賀炭坑事務長に就任
- 樹永靜衛(七政) 日本郵船會社に入り筑後丸乘組となる
- 大森 元(七政) 日清汽船株式會社に入り上海支店詰となる(上海老靶子路第二〇號日清公司社宅内)
- 中井虎六郎(二五政) 京橋區海外興業株式會社勤務(芝區白金三光町二七一)
- 寶性確成(五大政) やまと新聞社經濟部記者に轉勤

伊藤伊之吉(3政) 小樽高等商業學校助教に轉任

●德島幸一郎(6政) 一學志願兵として濱松歩兵第六十七聯隊第四中隊に入營

●福田辨治郎(四一大政) 鶴町區永樂町二ノ一〇日華業株式會社に轉勤

●徐樹人(5政) 支那山東省長公署外交科委員(山東省城西公界街)

●皆川秀孝(四一政) 支那奉天居留會會長に就任(奉天十間房第三區警第五十號)

●木下國明(三四政) 佐世保海軍經理部衣糧科長海軍主計中監 佐世保市潮見町二一七)

●大野精一(6大政) 茨城縣多賀郡磯原茨城無煙炭礦株式會社礦業事務所に轉勤

●中野作樂(6法) 門司市外大里町内國通運會社大里荷扱所勤務

●松浦三平(4法) 北海道炭礦汽船株式會社書記小樽炭礦所勤務(小樽區綠町三ノ八)

●藤本守(6法) 朝鮮黃海道淵川金融組合理事に轉勤

●岡田政司(6大政) 司法官試補として長崎地方裁判所檢察局に赴任

●岸節造(四二大政) 古河銀行大阪支店勤務(兵庫縣西ノ宮池田中町)

●下斗米耕造(三五法) 巖手縣無盡會社理事、エスエム洋服店主(盛岡市内丸四三)

●山田幸太郎(7法) 鶴町區錢瓶町日本興業銀行勤務

●小柴卯之七(三八法) 鐵道院副參事(下谷區山下町五官舎)

●小原玄之(5大政) 臺灣基隆堡哨船頭一九七山下汽船株式會社出張所勤務

●加藤政敏(7法) 一年志願兵として名古屋歩兵第六聯隊補充隊第一中隊入營

●上田榮吉(6法) 日本リーミアアブザース株式會社勤務(神戸市花隈町四二二安藤方)

●内田竹三郎(三一行) 露國西伯利亞知多市日露商會勤務

●黒澤昇治(三一行) 日清生命保險會社大阪支店長に轉勤

●丸山幹治(三四行) 大阪朝日新聞を辭し府下淀橋町柏木四四五に居住

●原田駒之助(二五英行) 日清生命保險會社支配人とする

●田中長太郎(三七文) 福岡縣立中學傳習館に轉勤

●森元勇(2大文) 北米加州大學卒業學位パチエラー・ホウ・アーツを得て歸朝(奈良縣南葛城郡葛城村伏見)

●上領三郎(四五大文) 三菱礦業會社に入る

●高橋惇(4大文) 教育新聞を辭す(市外東大久保四三二)

●木内辰三郎(三九大文) 外務省勤務(本所區向島小梅町二五〇)

●日野忠吾(四〇大文) 仙臺第一中學校教諭に轉任す

●永野幸平(7大文) 山梨縣立都留中學校在勤(同縣北都留郡大月驛前濱野屋内)

●湯尾雄次郎(4大文) 富山縣立礪波中學校教授 屬託 同縣東礪波郡郡山町字深江五百番地ノ一大島宗一郎方)

●尾崎義兵(3大文) 神戸市京町七八日本貿易株式會社神戸支店勤務

●井上繁治(四二大商) 名古屋市染港第二號地大阪アルカリ會社名古屋工場勤務

●鈴木理(四三大商) 合資會社桃山線香製造所勤務(芝區下高輪町三〇)

●板垣龍亮(7大商) 小倉市外砂津株式會社守谷商會九州支店詰

●南木温(5大商) 日本商事株式會社大阪支店勤務(大阪市西區報北通二ノ一八)

●島居憲吉(四五大商) 守谷商會勤務

●中村宇一(6大商) 三井物産株式會社孟買支店勤務 (Miami & Co. Ltd. P.O. Box, No. 14. Bombay)

●小澤巖(四五大商) 日本自動車株式會社員(赤坂區溜池町二)

●早川若三(2大商) 神奈川縣川崎町東京電氣株式會社勤務(府下荏原郡蒲田村新宿六五一)

●高柳勝治(四一大商) 日清生命保險會社名古屋支店長に轉勤

●古谷順之助(四〇大商) 朝鮮銀行に轉勤(京城旭町一ノ二)

●松本治一(5大商) 神奈川縣鶴見海岸潮田大阪製鋼所工場勤務

●彦原三(6大商) 汽車製造株式會社營業掛(小石川區原町一五)

●園田哲治(3大商) ガーストラリア・シドニー渡航 (c/o The Japanese Consulate, Sydney, Australia)

●鈴木篤(四四大商) 株式會社日本紡織機械製造所勤務(大阪市西區泉和町二八二)

●伊原全郎(四三大商) 大阪市南區高津三番丁十四番地東京動産火災保險株式會社大阪支店に轉勤(大阪府東成郡天下茶屋天王寺小學校前)

●谷分喜一郎(6大商) 横濱正金銀行大阪支店に轉勤(大阪府東成郡墨江村濱口番外二)

●清水喜一(7大商) 一年志願兵として高田歩兵五十八聯隊第十一中隊に入營

●清水覺夫(四四大商) 横濱市七十四銀行勤務

●加藤泰次郎(四〇大商) 戦後の經濟狀態觀察の爲め佛國に渡航

●高村光次(4大商) 栃木縣上都賀郡足尾町渡良瀬田鐵工場勤務

●市原俊雄(7大商) 古河商事株式會社調査課勤務(平込區原町二ノ五七)

●藤川圭英(3大商) 湯淺棉花株式會社に轉勤(大阪市南區傳人町四八二七)

●杉村正吉(6大商) 神戸市磯上通八ノ七ミカド貿易株式會社に轉勤(兵庫縣武庫郡西郷町大石二ノ五)

●野田山己(7大商) 横濱火災海上運送信用保險株式會社名古屋支店に轉勤(名古屋市中區主税町二ノ五四)

●武石雄三(6大商) 近衛歩兵第一聯隊第五中隊に入營

●高木獻吉(4大商) 弘益殖産株式會社を辭し京都府下深草村福稻一〇に居住

●名和庄八郎(6大商) 三菱神戸造船所勤務(神戸市上澤通七丁目八十八番屋敷)

●森田儀三郎(5大商) 大分縣南海部郡米水津村久原礦業株式會社小浦礦山勤務

●山本永太郎(四四大商) 福川汽船株式會社出張所勤務(神戸市山本通四ノ一四〇)

●鈴木豊(6大商) 一年志願兵として弘前歩兵三十一聯隊第九中隊に入營

●岩井岩城(6大商) 大分縣歩兵第七十二聯隊補充隊第三中隊に入營

●遠藤素三(四二大商) 日本橋筋屋町賴算礦業事務所所員(麻布區市兵衛町二ノ六一)

●小田勝次(6大商) 藤本プロローカ銀行勤務(大阪府下玉出町東濱田一〇一四)

●鹽野恒吉(7大商) 青森歩兵第五聯隊第三中隊一年志願兵

●田村章四郎(3大商) 大和工業株式會社監査役株式會社明治貯蓄銀行取締役、株式會社柏壁銀行取締役(埼玉縣柏壁町)

●富田達三郎(四五大商) 鶴町區内山下町日本勸業銀行勤務

●山地保(6大商) 名古屋市中村字則武森村

商事株式會社に轉勤

- 山中公平(2大商) 中井銀行川口支店主任となる(埼玉縣川口町二六七)
- 櫻井善兵衛(6大商) 淺野物産株式會社に轉勤
- 佐々木安一(四四大商) 株式會社正盛館増埴製造所を辭す
- 阿久津三男(4大商) 米國カリフォルニアニヤ大學在學(1134 Georgia st., Los Angeles, Cal., U.S.A.)
- 横濱鐵城(7理工) 芝浦製作所員(牛込區喜久井町三六五江文太郎方)
- 佐藤信一(5理工) 東京電燈會社勤務(府下王子町一二七)
- 海野幸秀(5理工) 名古屋市中區南長島町木曾電氣製鐵會社勤務
- 小野寺長(7理工) 中部鐵道管理局東京列車電燈所勤務
- 立石猪三郎(6理工) 神奈川縣川崎町京濱電氣鐵道株式會社電氣課勤務
- 田中政右衛門(4理工) 大阪市梅田町鐵道院電力區勤務
- 本武一(5理工) 福岡縣大牟田市三井鐵山株式會社三池製煉所に轉勤
- 高村宗吾(5國) 奈良縣立畝傍中學校に轉任(同縣高市郡今井町四〇九)
- 公代公平(7國) 栃木縣立眞岡中學校在勤(同縣眞岡町字荒町卷屋方)
- 古川碌郎(7國) 佐賀縣鹿島高等女學校に轉勤
- 力石知義(四一國) 神戸市上澤通六ノ一〇に於てサツドル商會を經營す
- 藤井武雄(7英) 東京火災保險株式會社勤務(小石川區東青柳町一六齋藤順次方)
- 平岡伴一(5英) 東京帝國大學英文學選科生(芝區沙留町二ノ一鐵道院官舎)
- 長坂嘉一郎(7英) 福島縣立相馬中學校教諭(同

縣中村町羽根田方

- 秀島英五郎(二〇英本) 三菱合資會社に轉勤(市外中津谷八三〇)
- 柏木永一(7國) 神戸市野田ライオンクラブ石油株式會社野田油槽所勤務(同市中山手通一ノ三三〇湯野方)
- 松坂辰己(6國) 陸軍歩兵第四十九聯隊第八中隊一年志願兵
- 豐岡 輝(2國) 和歌山縣立和歌山中學校に轉任(和歌山市西徒町六)
- 妹尾齋三郎(7國) 愛媛縣立松山中學校在勤
- 尾崎三郎(6國) 新潟縣立新發田高等女學校に轉任
- 高木契園(6推) 大阪市北區木幡町二五共同商事株式會社取締役
- 上野清彌(2推) 日清生命保險會社仙臺東北支社長
- 馬場恒吾(四二推) 國民新聞派遣記者として佛國に渡航
- 注 榮實(四一推) 瑞西群刺支那特命全權公使となる

轉居

- 校友諸氏、轉居左の如し。
- 煙山專太郎(教授) 市外東鴨町染井八三六
- 馬場百哉(講師) 市外大久保町東大久保一八二
- 關口賢三(3政) 北海道渡島國上磯町飯生町一四
- 栗山新六(三四政) 福岡市西職人町一〇
- 豐田兼助(6政) 麻布區山元町一、鈴木方
- 喜多二重(5政) 奈良縣生駒郡法隆寺村
- 伊藤元治郎(三四政) 市外東鴨字東鴨新田八三一番地(出版業)
- 杉原敏一(2大政) 赤坂區丹後町一七伊澤方

和泉慶三(7大政)

- 支那大連市溪路町六區四三岡崎方
- 敷地貞平(4政) 小樽區色内町北海道拓殖銀行小樽支店內
- 橋本牧三郎(二七政) 小石川區若荷谷町六三
- 福井雄三(7政) 大阪市南區逢坂下町四五七三田村金之助方
- 更井理作(7政) 小石川區關口臺町二二(研究科在學)
- 青木三郎(9政) Sakurai Gouno Koshi, No. 38, J-kan, Irahara, Johari Bahru.
- 小林正氣(7大政) 大阪市南區天王寺細工谷町五四九〇木村正兵衛方
- 横山朝雄(四〇大政) 名古屋市東區石神堂町一三杉山方
- 山本昇雄(四一大政) 小石川區水道端町一ノ三八番地
- 山本儀太郎(二三政) 麴町區富士見町四ノ一一青山邸内
- 田邊成三郎(4大政) 赤坂區新町三ノ四二
- 後醍醐正六(二五政) 大阪市東區森之宮西ノ町六二二
- 渡邊和治(6政) 牛込區改代町一三
- 寒河江堅吾(2政) 小石川區林町九五
- 和田 積(6政) 神奈川縣川崎町停車場横町八一七山本館内
- 荻野元太郎(三六英政) 麴町區一番町一一
- 白尾寅千代(三七政) 鹿兒島市清水町一六
- 岩田 督(三一法) 市外大井町庚塚四七三八
- 大原周作(5大法) 牛込區早稻田町二六
- 末岡秀司(4法) 佐賀縣東松浦郡相知村
- 美濃輪亮(5法) 滿洲大石橋盤龍街滿鐵社宅貳壹號ノ六
- 淺田秀多(三八法) 大阪市南區天王寺伶人町四八五五淨願寺内

栗原島三(四一法)

- 府下田端五三六
- 今井鷹司(8英法) 335, Commercial st., Los Angeles, Cal., U.S.A.
- 藤野勝男(6法) 岡山縣兒島郡宇野港西岡村木店內
- 前川左京(5大法) 奈良縣西葛城郡忍海村大字忍海
- 江上半助(7法) 市外下戶塚町大字下戶塚一三細谷鶴三方
- 絲 了(三一行) 北海道石狩國空知郡沼貝村
- 字美唄
- 水谷弓彦(三六文) 小石川區林町四三(著述業)
- 日高清一(四四大文) 小石川區宮下町五八番地(出版業)
- 有江金太郎(2大文) 牛込區若宮町二六
- 榎本秀夫(7大文) 千葉縣安房郡北條町仲町大村方
- 大野木繁太郎(6大文) 大阪市東區大川町大阪毎日新聞社内
- 蒲生治郷(三六文) 下關市丸山町一七七〇
- 岡小光玉(7大文) 和歌山市東坂ノ上一
- 佐藤勝太郎(3大文) 府下目黒驛近傍上大崎町五五九
- 谷口辭三郎(三三文) 荏原郡平塚村戸越字繪ヶ先一〇〇
- 金木九萬(四三大文) 市外大井町倉田三三三二
- 深澤義弘(7大商) of General Consulate of Japan, in New York City, U.S.A.
- 崎山靈雄(2大商) 福岡縣若松市修多羅山手通七丁目杉木商事株式會社々宅内
- 若岡平一(4大商) 小石川區水道端一ノ七三
- 道 真彌(四三大商) 小石川區雜司ヶ谷町一一九番地
- 石川金吾(5大商) 小石川區雜司ヶ谷町一一二平松方

- 岡田虎雄(4大商) 市外下灘谷二〇七
- 糸賀榮良(4大商) 横濱市本牧町宮原九五五松
- 永學郎方
- 福田俊次郎(2大商) 大阪市南區下寺町四ノ四
- 五七五
- 高林 正(2大商) 静岡縣濱名郡濱志村有玉四
- 八三
- 朝日 厚(5大商) 静岡縣沼津町在二瀬川
- 日下部大造(3大商) 兵庫縣武庫郡四ノ宮町字
- 池田七二松本松三郎方
- 佐藤昌尙(四四大商) 芝區車町六四
- 吉田清一(7大商) Yoshida Press, & Co., 244 California st. San Francisco, Cal., U.S.A.)
- 演名 孝(同上) 同上
- 關原正元(四三大商) 府下西條鴨町大字宮仲二
- 一〇〇
- 牧江三省(四五大商) 荏原郡品川町字品川步行
- 新宿四一
- 湯淺旋一(7大商) 愛知縣北設樂郡本郷村小川
- 鍵次郎方
- 朝倉幸一(6大商) 本郷區弓町一ノ二六本郷
- 館支店內
- 牛島寅生(4理工) 静岡市鐵道院官舎七號ノ五
- 井田信太郎(6理工) 静岡縣江尻町字出作富士
- 水電江尻變電所内
- 大林茂夫(7理工) 豊橋市外北島一一
- 松下保次郎(3理工) 神奈川縣鶴見在生泰明神
- 前二一四
- 升本欽治(4理工) 横濱市藤田町字西九九
- 佐伯越夫(6理工) 京橋區築地一一五敬覺寺内
- 吉田源一郎(4理工) 荏原郡入新井村山王二五
- 九〇
- 松島 清(7理工) 芝區二本橋一ノ六二
- 西 一耶(4理工) 府下中野町大字中野字園三
- 一一三

- 清住義廣(6理工) 大阪市西區築港二條通り四
- ノ三八(株式會社大阪鐵工所造機部技師)
- 藤井新一(6英) 104 No. Los Angeles st., L. A. Cal., U.S.A.
- 鈴木興作(7國) 新潟縣中蒲原郡村松町大手志
- 村成民方
- 大野邦憲(3國) 小石川區宮下町六九吉田方
- 水島寛治(四〇英) 朝鮮京城花園町一一〇
- 田中一慶(四一國) 福岡市藥院原町三六四
- 名古屋直治郎(4國) 堺市柳之町東一丁二二

改姓名

- 校友諸氏の改姓名左の如し。
- 岡崎 豐(7政) 舊姓平尾(兵庫縣出石郡神美村口小野岡崎正親方)
- 市來大助(2大政) 舊名信(三益商會理事、府下雜司ヶ谷水久保二四七)
- 神津文平(三九政) 舊姓藤澤(牛込區早稻田南町二三)
- 戸田陽三(6大商) 舊名收
- 築崎長九郎(5大商) 舊姓漆原(輸出入麻苧業、大阪府西成郡北中島村字蒲田七一九)
- 渡邊安雄(4大商) 舊姓蛭川(赤坂區新坂町一六)
- 横地茂郎(2大商) 舊姓塚本(名古屋市中區傳馬町株式會社明治銀行員、同市東區中市場)
- 山田丑藏(4大商) 舊姓伊藤(通旅鐘町第百銀行支店勤務、小石川區高田老松町五八)
- 近藤庄三(7理工) 舊姓岡田(府下中野町電信獨立大隊第一中隊第一内務班入隊、京橋區銀座三ノ三)
- 宍戶省吾(7數) 舊姓菅野(三重縣宇治山田市立商業學校講師)

明治四十年	專門部政治經濟科出身	武田 信一
明治二十九年	邦語政治科出身	堀越 定一
明治二十三年	邦語政治科出身	光岡 安藝
大正六年	大學部法學科出身	小林 勝
明治二十六年	邦語行政科出身	岡田太四郎
大正五年	大學部商科出身	片岡 武男
明治四十三年	大學部商科出身	合原 六郎
明治四十四年	大學部商科出身	宮崎 洋吉
明治四十四年	大學部商科出身	井山 政藏
明治四十一年	高等師範部英語科出身	高橋 正壽
明治四十一年	推選校友	飯島 實
明治四十一年	推選校友	久田 研三
明治四十五年	推選校友	持田健四郎
明治四十四年	推選校友	松本嘉知三

右諸氏の訃報に接し哀悼の至りに堪へず茲に謹んで用意を表す

會 合

●高等豫科教職員懇親會 一月二十五日午後五時より神田區今文に於て高等豫科教職員懇親の宴を開く。當夜は平沼學長兼科長開會の挨拶あり。松平、梅若、三輪、前橋、宮井等の各教授も昔の學生時代を偲ばるゝ元氣にて牛鍋をつゝき盃を重ね、聽て各自起立して自己紹介をなし、永井教授の名一孝は本名ひでのり、通稱かすたか、俗稱いつかうと名乗るに至つてひでのりの訓につき詳解あり喝采を博す。氏家教授は二高仕込みの「さんさしぐれ」の高歌に普波を見せ、遅刻者内ヶ崎、武田兩教授下戸、上戸の對座も亦興を添へ、満座和氣霽々の間に歡を極め九時散會せり。當日の來會者左の如し。(順序不同)

- 工手學校主任打合會 一月十九日午後五時四谷三河屋に於いて早稻田工手學校主任打合會を開き、徳永校長、鹽澤理事、前田幹事、山本、松本、小室、岸畑、藤井、定金各主任田井主事、片山會計諸氏出席、打合せ協議する所ありたり。
- 江府莊環珂氏等招待會 本大學關係有志の發起に依り一月十七日午後五時芝紅葉館に、校友支那留學生監督江府氏、支那公使館參贊官莊環珂氏及折柄來京の校友陳溥賢、小川愛次郎諸氏を招待し、一夕の歡會を催されたるが、出席は賓客の外、
- 松平 伯爵 高田 早苗 平沼 淑郎
- 鹽澤 昌貞 田中 穠積 中村 進午
- 田中唯一郎 渡邊 亨 増田 義一
- 中島半次郎 前田 多藏 小松 林藏
- 青柳 篤恒 柏原文太郎 桑田 豐藏
- 松山忠次郎 五來 欣造 土屋 啓造
- 諸氏にして、席上高田早苗氏發起人を代表して歡迎辭を述べられ、之に對し江府氏賓客を代表して謝辭を追べられ、主客打寛ぎ獻酬の間歡談に時を移して散會せり。

雜報

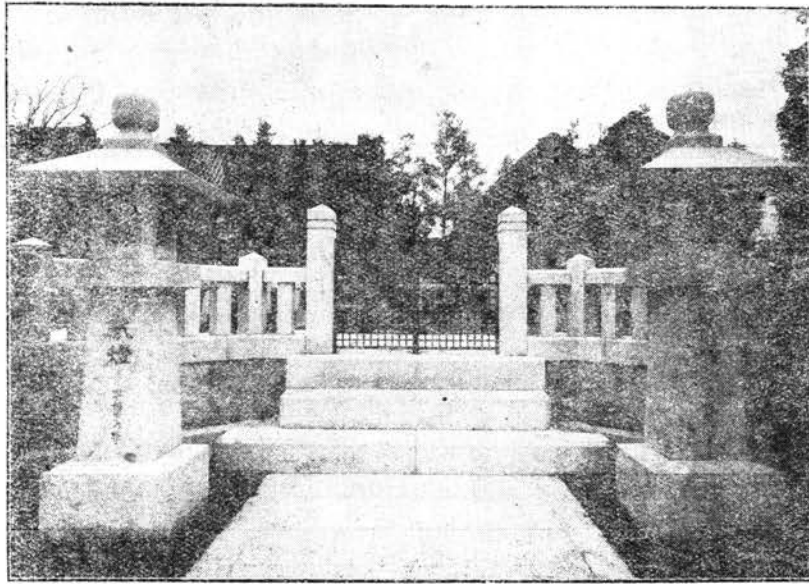
●大隈總長の歸京 前號記載の如く舊臘來國府津別荘に靜養中なりし總長大隈侯爵は令夫人其他家族を隨へ一月十四日午前十時五十分東京驛着歸京せられたり。

●總長大隈侯爵家墳墓に本大學寄贈の石燈籠竣成す 大正六年五月總長大隈侯爵法要の爲め西下歸省(本誌大正六年七月號記載)の際本大學より侯爵家累代の墳墓に燈籠一對寄贈建設中の處今回竣成したり。

●永樂俱樂部 消息

▲年賀名刺交換會 一月五日午前十一時より本俱樂部會員及早稻田大學校友並に其緣故者の年賀名刺交換會を開催せり。出席者は平沼學長外約三十拾名。

- 小松 林藏 平野英一郎
- 田中小太郎 三島 真藏
- 鈴木 寅彦 中澤 權藏
- 齋藤 義一 能勢 春夫
- 坪谷善四郎 小穴 秀一



本大學より總長大隈侯爵家墳墓に石燈籠の贈寄

- 渡邊 亨 平沼 淑郎 大橋 誠一
- 旗野美乃里 田坂 直雄 昆田文次郎
- 金 慶吉 石井 政吉 降旗元太郎
- 鈴木徳太郎 中野 勇平 長岡 常三
- 伊野 賢造 齋藤 隆夫 永田金三郎
- 山本 愿太 田中四郎左衛門 長谷川誠也

- 芳賀 恒介
- 堀田 正由
- 渡邊 虎一
- 小林豊太郎
- 島田 胤英
- 黒田善太郎
- 横山 勝事
- 河田 哲夫
- 井上辰九郎
- 星野 治作
- 若林 成昭
- 村井 五郎
- 齋藤忠太郎
- 村上猶太郎
- 井口 誠一
- 上原 鹿造
- 増田 義一
- 早川 徳次
- 武信由太郎
- 飯田新太郎

杉田金之助 酒井 醇一 深澤 敏介
 内田七郎次 大槻 音松 森 盛一郎
 岡 壽 森下 國雄 市川 繁彌
 和方 温興

▲書畫展覽會 一月十五日午後一時より會員愛蔵の「梅及美人」に因める書畫展覽會開會、出品點數約百五拾點、傍ら書畫交換會の催もありて盛況を呈したり。

▲球突競技大會 一月十三日午後四時より、撞球競技大會を開き、出席者二十名、餘興として白木屋呉服店寄贈に對する興味ある競技もありて頗る盛況を呈したり。

●私立大學學長會 一月二十三日午後五時、中央亭に於て都下各私立大學學長會開かれ、新大學令に就き協議する所ありたりと云ふ。

●青柳教授の地方講演 青柳教授は正月七日埼玉縣北埼玉郡羽生町に於ける埼玉中學校學生の組織に係る嫩會の招聘に應じ、午後一時より同町羽生座に於ける學術講演會に出席し「極東外交の變局と帝國國民の覺悟」と題せる講演をなし即日歸京せり。

●北澤教授の講演 教授北澤新次郎氏は一月二十日商業會議所に於て「勞働者問題の眞髓」と題し講演ありたりといふ。

●小林教授の講演 教授小林行昌氏は一月二十五日神田學士會に於ける經濟學同攻會にて「物價指數に就て」の題下に講演ありたりといふ。

●高橋講師の講演 講師高橋清吾氏は一月廿七日(日)午後五時恩賜館會議室に於ける學藝會第一回講演に於いて「國家の起原と其本質に關する研究」の題下に講演せられたり。

●林評議員逝去 熊本縣校友會選出本大學評議員林立夫氏は十二月廿九日逝去せられたり。

●大正七年度校友會維持費醜出人名(第四回)

- 長安 正夫 藤本 嗣 宮田 誠
- 大石 敬三 松本 容吉 宮下 重利
- 菱沼 幸平 日根 周二 小林 正美
- 柿原 壽一 中島 好郎 青山樹左郎
- 加藤 美侖 大山 嘉藏 松井 甫芳
- 伊藤 幸平 野村良太郎 坂口 徳雄
- 池田 可夫 牧野 義智 宮川 庸三
- 草刈 健藏 田村 又六 加藤 俊一
- 大政 正雄 郡丸 隆 永田辨三郎
- 川井 榮一 井上 武夫 笹澤 三善
- 尾崎 勝巳 竹内 茂 江口重太郎
- 小林金十郎 穴山 義次 河部 泰雄
- 瀧澤 理一 城田鶴五郎 志永 直彦
- 金井 悌藏 荻窪 潔 山本巳四郎
- 横關 愛造 池上 芳周 横澤源三郎
- 瀨下源三郎 江藤 助一 密田 幸三
- 徳永 眞鑑 山本市真次 大宮 光男
- 高島 豐 土井 潔 小原曾太郎
- 二木 千年 西脇 保次 佐々山雅一
- 上條 若丸 伊藤 基 日野 正信
- 内田 民部 午來 丈助 三宅 清藏
- 原 忠篤 三宅 淳平 大古田要一郎
- 三木 春雄 高橋 悌介 竹中 正雄
- 谷 富賀志 長尾清一郎 杉山 治雄
- 上村 眞澄 大山 郁夫 中山 本麿
- 杉田金之助 永井柳太郎 淺川 保平
- 神柳都太郎 佐伯 越夫 庄司 丈六
- 星見 雄二 森田 明義 佐伯 好郎
- 青木 榮吉 江原 憲吉 細野 繁莊
- 三井 道男 高橋繁武 池田長太郎
- 井上 幹三 野中中太郎 藤田 惠吉

大畑源一	高崎順一	清水	正範	時岡從太郎	楠	正伯	齋藤和太郎	植村	與平	千早	正寛	近藤富次郎	梅澤	忠治	渡邊	榮雄	渡邊丑之助
間瀬直一	馬淵友直	大槻	音松	神尾錠吉	山本忠興	清水	泰次	鈴木新吉	岡田淳司	增田實	田中秀穂	大西貞治	田中秀穂	大西貞治	横田秀雄	對馬謙尙	大橋福松
藤井鹿三郎	藤川年	小泉	一雄	勝俣益吉郎	柳川勝二	百瀬計馬	計馬	町田忠治	富井六造	本多助信	雨宮治郎	上田大助	雨宮治郎	上田大助	坪内信	小松徹心	田中藤六郎
市村環次郎	筒井勇	對木	志磨	甲斐秀雄	涌野廣作	杉山令吉	令吉	森六郎	浦島泰朝	松本義雄	岡山眞平	坪内信	岡山眞平	坪内信	河崎清	西村辭三郎	西村辭三郎
森脇美樹	矢野芳	綾部	幸夫	池田清	野澤孫太郎	井上辰九郎	辰九郎	山本壽彦	金子從次	佐藤渾	福田喜孝	河崎清	福田喜孝	河崎清	御園恒太郎	伊藤康安	伊藤康安
竹中二郎	淺見陽一	塚原滿一	陽一	中島半次郎	柴谷龍寛	島村他三郎	他三郎	木村篤二	近藤清次郎	服部嘉香	岩村鐵次郎	御園恒太郎	岩村鐵次郎	御園恒太郎	小坂田隆平	清水覺夫	清水覺夫
北澤武男	淺野源吾	飯澤肥一	肥一	伊地知純正	山川瑞三	中野正剛	正剛	德永重康	安田速水	永田衛吉	柏房五	小坂田隆平	柏房五	小坂田隆平	二木保幾	志賀彦三	志賀彦三
谷紀三郎	密田良太郎	西村新助	新助	黒谷正孝	森本繁雄	井口勝保	勝保	石野藤太郎	松本健之助	京田武男	坪内大造	京田武男	坪内大造	松村増男	竹本宇吉	山田勝郎	山田勝郎
西村眞次	吉田博雄	井汲倉藏	倉藏	鈴木茂三郎	宮澤隆胤	淺野勝利	勝利	北澤平藏	桑原重矩	小澤一雄	松村増男	降旗元太郎	松村増男	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
田部信秀	桑田福太郎	齋藤功	功	兒島俊之助	宮澤恭亮	中田浩	浩	星野德太郎	大久保好美	加藤信正	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
木山十彰	恒川吳作	町田岐	岐	山田文次郎	肥塚驥一	橋戸敦義	敦義	木村俊次	町田歌三	小林登志吉	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
稻毛金七	中村祐家	藤田末義	末義	菊池茂	大澤慶作	河田哲夫	哲夫	德島幸一郎	辻國次郎	武藤剛	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
島中雄作	入船勝治	三島良藏	良藏	堀口安	山中光	丸山朝良	朝良	朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
橋本清吉	望月信太	寺島三之丞	三之丞	有川正吉	山口萬吉	工藤彰	彰	朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
重松實	清水彌太郎	江上弘遠	弘遠	遠山雲平	天海上四郎	林元一	元一	朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
近藤泰三郎	和田垣謙三	樺島信福	信福	野木篤助	清水孝藏	森秀雄	秀雄	朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
高谷實太郎	豐川良平	岡田政司	政司	小田倉道三	志賀重昂	平田宗威	宗威	朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
渡邊亨	山内不二雄	篠崎彦三郎	彦三郎	大塚祥三	栗山善之助	佐々木一義	一義	朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
椎尾辨匡	田中不二	田坂誠三	誠三	三堀寛	遠藤太郎	鈴木三之助	三之助	朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
永川俊美	豐田實	小野友次郎	友次郎	小原純一	村松武夫	谷新太郎	新太郎	朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
田邊給太郎	庄司恪次郎	淺川是勝	是勝	橋爪温	荒川敏雄	川本九右衛門	九右衛門	朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
玉江文雄	岡安理平	平井勝衛	勝衛	遠藤富次郎	富中長次郎	風間新助	新助	朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
山田正	水谷武	岸田熊雄	熊雄	西一郎	葛西秀雄	猪俣勳	勳	朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
原科茂作	堀江朔	島田行啓	行啓	吉田世民	葛西秀雄	猪俣勳	勳	朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
増田登	島岩松	堀川恒男	恒男	小田内通敏	別府惇	石井義兵衛	義兵衛	朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
湯淺泉	小林四郎	川本三郎	三郎	山本勇造	小島七郎	白岩甚右衛門	甚右衛門	朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
野崎信幸	若月作郎	小谷嘉一郎	嘉一郎	關口吾一郎	吉村慎一	鈴木賢作	賢作	朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
松野徹	多良寛	正木次郎	次郎	水野真高	野村綱治郎	高原英三	英三	朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
神谷祐一郎	吉富嘉春	長門健榮	健榮	伊藤重治郎	定金右源二	命尾壽次	壽次	朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
伊澤一啓	吉本正也	皆川巖	巖	堤康次郎	井上忠一	大橋敏郎	敏郎	朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
今泉丈吉	西尾喜太三	阿部真夫	真夫	足立等海	大内暢三	小林堅三	堅三	朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
村上元吉	寺尾元彦	若杉勇	勇	廣瀬龍次郎	小關信吉	岩田一郎	一郎	朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
島山憲吉	小林行昌	岩崎泰治	泰治	櫻庭達堂	田中八穂平	薄井福治	福治	朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
大石義之	浮田和民	山田三良	三良	二階堂行善	三木武吉	北澤新太郎	新太郎	朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太
岡崎直樹	草野豹一郎	岡崎正見	正見					朝重進一	淵田忠良	森川石抹	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	降旗元太郎	岸本能武太	辻川潔	岸本能武太

高島益之助	高倉 盛光	重城 康三	淺見金三郎	三吉友之輔	戶塚孝兵衛	奧田源兵衛	三輪善太郎	岩井折太郎	早速 整爾	吉田 義之	河野 美雄
中野禮四郎	金子 清	石川 洗	南 守一	上領 三郎	志水 東男	渡邊 虎一	朝田 惣七	白井 榮壽	秋山武太郎	坂本 武彦	植木 正一
中野 鐵平	知野根好雄	齋藤 政吉	遠藤 孝一	秋元 平八	藏 重三郎	高羽 國瓦	小林 福治	齋藤 恒助	草町 繁	安原亮三郎	岩田豐之助
浦邊 慶夫	男全 龍三	石橋 湛山	井口龜三郎	田村 三治	結城梅太郎	山口 定一	番場 吉二	西脇六右工門	大沼銚太郎	忍 健夫	中島 泰藏
北 哈吉	朝倉 希一	渡邊 保穗	小林 薫	八木 勤作	紀 省三	倉 正榮	奧澤福太郎	佐久間小一郎	田中啓次郎	酒井 龜治	都築 等
紀 淑雄	森 麗山	花井 綱造	中村 鎮	關 和知	奧山 一雄	川上 勇	松浦誠一郎	田中四郎左工門	金子德一郎	三浦 辰二	小泉 二郎
尾崎 銘	中川 次郎	山本 忠夫	木本 守治	佐藤甚九郎	清水 八郎	竹本 曜二	宮木 昌常	松山忠二郎	松本 軍平	宇佐美佳吉	松田 臻
坂本 三郎	安藤 金平	櫻井 重雄	鹽澤 昌貞	柿西藤一郎	原 安三郎	保科 孝一	林 行彦	木村 尙達	武藤 義治	永田 成一	植村 貞吉
中野 松彦	糸永 耘平	鬼頭 政雄	遠藤 又藏	栗田俊次郎	早川 有三	二見 仙平	山本敏太郎	松本 猛彦	藤田邦一郎	磯 信夫	鈴木 素
上田 友春	牧野 愛吉	井上 孝藏	小穴 秀一	吉田 千穎	宮島 綱男	飯島 德次	佐原竹次郎	北村 淑人	戶塚善次郎	塚越孝次郎	中西 大玄
坪内 士行	尾立 准昌	高須 鐵造	山田 胖	志賀 定一	中村三男吉	宮本竹次郎	上原吉太郎	山口 達	藤原 忠吉	好地昇之助	石谷傳兵工
崎山 靈雄	伊藤 真路	山崎 操	永井 一孝	馬屋原仙一	前島 平藏	小野 敏郎	楠本芳能太	絹川 太一	大久保清忠	水崎 保	石澤久五郎
豊富徳太郎	小川爲次郎	小西久太郎	並木覺太郎	淺田 祐介	濱島 利重	木村賢太郎	荒木 順三	河出 源一	栗屋 忠夫	氏家 正	安藤 仁隆
佐々木宗勝	問世田實登	小野善五郎	宮島 文藏	櫻山 四郎	山柴 金吾	神田 匡平	牛島 寅生	安達 和雄	栗屋 忠夫	氏家 正	立川策次郎
堀田 正由	川上 親利	坂本源三郎	片谷 傳造	齋藤時之助	池田武次郎	關谷繁太郎	柳原 玄龍	久恒 玄雄	先光 孝	牧野菊之助	藤 惠雄
加藤 正信	中條真二郎	丹羽 幸夫	久保田實宗	加藤松四郎	倉住 覺藏	小川 清	矢野 昌永	山瀬 俊賢	山田 清作	相良大八郎	高橋 信爾
人見 勝	野崎 龍七	西田 優一	東野 彪	田澤 康民	岸 貞吉	鈴木吉太郎	八杉 貞利	江上 秀靜	山田 清作	相良大八郎	高橋 信爾
平井 秀雄	菅原 又次	中村 節雄	後藤 信治	佐々木五郎	三好 七郎	川崎 信顯	立石 謙輔	水上鐵治郎	坪谷 忠三	萩原 秀雄	花守 越
海老澤了之介	植田 佐一	久留 弘三	中西 雄洞	橫山梅三郎	伊東 三郎	清水 民造	立川勇次郎	上原 精一	高井 正門	石川 秀浪	富田 通敏
宮崎 洋吉	仁平 久純	小林 喜一	濱口 擔	生方 真一	伊東 三郎	富永 三省	淺野謙次郎	太田 元雄	高原 眞重	髙原 眞重	矢橋 潤二
矢内 榮次	石川 賴一	八代 重夫	北村民三郎	遠田 亮	平松 市藏	安田 清雄	栗原 雅信	吉村 繁俊	吉田 享二	岡村 千曳	森 源作
篠原 花實	河野安通志	河内宮次郎	橋 山人	酒井福次郎	河原 三郎	野間 五造	關 松市	野呂 五夫	岡村 千曳	本多淺治郎	江指 盛一
長谷川謙一郎	兵頭 直明	高原 政治	稻津 秀光	島田 民夫	柿内 照康	山澤 俊夫	築瀬 清太	淺岡 哲	堀 維孝	中村 進午	山口 榮吉
芳賀 恒介	長崎 進	角田 久福	大西孝次郎	中川 重政	村上鏡太郎	萬里小路元彦	壺河 卓爾	鈴木德太郎	加藤 正甚	渡邊 忠恕	岩井 貞治
長山 乙介	瀨戶 義直	市川 勇	淵川忠太郎	吉川 仙藏	下村清三郎	橫井 春野	荒木 正紀	永井 清志	八木 實	中村 甚一	小栗 半平
波邊 哲	松村 寅三	松野 竹吉	野村 龜藏	川村 久樹	稻光 謙三	齋藤佐次郎	石川 文雄	德永 眞通	反町 茂作	新川 長藏	松尾保三郎
松島 肇	鈴木宗一郎	山本 一郎	倉田 隆介	佐久間榮助	村上 謙吉	伊達 保美	荒木 正紀	永井 清志	西川吉太郎	多田平治郎	高谷 文内
宮澤 隆勇	園田 格	登阪宇三一郎	江藤 哲藏	川添 恭造	村上 謙吉	松谷 忠徳	山口 剛	星島 茂	内丸最一郎	江口 信市	巴 利三郎
城所竹次郎	森下岩太郎	飯田定次郎	小野 俊三	國野 孝吉	渡 千城	松谷 徹	鶴田 賢次	石坂 靜一	藤田 一	林 六郎	山本眞太郎
小林 英三	宇佐美 伴	今川 鎮夫	吉川 利一	小平 憲吉	佐久間庸一	伊達 充邦	鶴澤 宇八	小林利十郎	大貫傳兵工	伊藤 榮三	馬場 達郎
松隈 一	小野 保太	江渚 達五	山村 涉	田淵 好平	佐久間庸一	倉島 一郎	高橋 昇造	志賀茂次郎	武石弘三郎	黑田 政吉	平野英一郎
近藤 節	西川 六郎	氏家 謙曹	豐田 大誓	宮崎 眞治	高橋藤太郎	牧野謙次郎	池田 三平	豐田 直通	中村 新治	大澤 定正	今村 與作
堀部水次郎	望月 世教	民野 雄平	林田源太郎	井上牛三郎	新井智三郎	倉島 一郎	池田 三平	豐田 直通	中村 新治	大澤 定正	今村 與作
岡田 正夫	山田 敏行	小田 岩藏	大島居弁三	日比 重順	深江基太郎	倉島 一郎	池田 三平	豐田 直通	中村 新治	大澤 定正	今村 與作
中村 輝雄	平田 直一	石丸 正誠									

瀨川 光行	神谷 信義	三谷貞次郎	人見 修藏	小島 義正	日比 得三	金森 謙道	鈴置 太郎	河合 清	三浦 嘉重	小山 温	栗原 一平
岡田 猛熊	星野 治作	佐藤 伍市	後藤 平一	小崎 桑吉	清水徳太郎	高橋 彌助	小木 植	星野 久	岡澤新太郎	岡田朝太郎	朝野 秀二
堀切善次郎	齋藤 俊揚	川又 謹五	中村登利三	田中可三郎	南木 温	林 公行	赤岡 健介	原田 昇	土屋 卓三	尾上 八郎	伊澤 茂禮
小山 三郎	杉岡 孝一	若林 亮	八幡 恭助	齋藤義太郎	津田信太郎	室 七郎	小林 寛一	大島 忠雄	三宅 晃	久松 廉吾	大森 啓介
長瀬虎五郎	竹林磯次郎	鳥居 憲吉	野上卯三郎	淺野泰次郎	柴田 潤藏	山縣 長六	山本 稔	池田 龍一	若松 成昭	山岸 光宣	河野 保
鈴木 偶	高信 孝治	野口喜太郎	永尾 文吉	別宮音次郎	安井 盛三	中根 正俗	川口治三郎	藤 寶太郎	川手 音吉	杉浦 啓二	米山 福次
諏訪 剛雄	磯谷幸次郎	寛 克彦	佐藤 政一	佐伯 唯一	市川 又熊	横内 信重	大河内隆弘	高安光太郎	岡田 虎雄	石井久太郎	福永 光藏
ベニホフ	前日本二郎	黒澤 政章	下條 治恒	小南直治郎	宮澤清三郎	島津 和美	松川 綱	島田 兵藏	西田眞三郎	菊地 悟郎	佐藤 悌悟
大久保常正	野島 八郎	渡瀬 乙彦	佐藤 碧	豊田 兼助	村田 貞次	小山 蕃	増子喜一郎	鈴木 善作	村澤 二郎	古澤龜次郎	山地 保
前田 多藏	池田唯之助	善野孝一郎	石野 彰	船田 清次	酒井 寛一	山本久太郎	小田 勝次	山崎 直治	平沼 藤八	大塚傳三郎	石川 金吾
クニト	柳川眞澄治	曲山 公平	島山 一清	成富宮三郎	井上 仁	藤村龜次郎	飯塚庄三郎	藤田 耕平	捧 行憲	水島 久而	勝田 加一
桑木 巖翼	飯田 博二	峯尾 忠作	井上 友一	岸 元一	岡 秀三	小澤 一	久保 次郎	妹尾房次郎	渡邊 猪作	平塚周一郎	吉富 眞純
山岡 敏二	高西 淑次	石井 良藏	吉田 静致	森 了一	山口 巖	鹿島 増藏	上林行一郎	渡邊 淳	松山才四郎	島津 久賢	三津 宮藏
松井 等	小山精一郎	高根 義人	廣政 幸助	瀧澤 永二	北澤 次郎	望月松太郎	石田友三郎	高橋 秀	大屋 教	今 和次郎	伊東秀之介
吉田源次郎	三上徳三郎	馬淵 浩	大原 晴雄	種村 宗八	上遠 三郎	樺 強祐	山崎 駿次	高野 進一	今 和次郎	松崎藏之助	久間 九郎
岡崎 幹雄	中野 正夫	多田 満長	熊崎武良温	淺野 賢智	黒田善太郎	平沼 淑郎	星野辯五郎	中村 仲	橋本 眞藤	大塚 氏明	松垣 新一
大河内勝三	増田増次郎	瀧澤猪十太	金子 武	鈴木 宗七	島田 賢平	古賀 光太	早川 徳次	矢口 達	望月 政三	永野 燦助	佐藤 三郎
玉置 郎次	瀨下 清通	吉川 收	藤山 茂彦	岡村 順一	鈴木 浩之	中桐確太郎	柏木 潤三	羽田 智澄	古田島和太郎	秋山惣次郎	山崎 寛猛
山田英太郎	田川大吉郎	安西於菟彦	藤山 茂彦	岡村 順一	山田 精治	石井 新一	高橋 郁二	北澤 義男	小川兼四郎	宮本 俊三	瀬戸 佳六
逸見季次郎	竹林長太郎	金澤 重蔵	大隈 信常	池上止四郎	清水 時松	森田小六郎	林 眞夫	柳生 金治	平野 亨	曾根 繁	森田 俊夫
伊東 五郎	有馬 重男	松田 清	三枝 守富	磯野 菊一	石附慶太郎	向山 茂次	廣瀬 濟	細谷一太郎	小林豊太郎	田村 柳吉	今 逸郎
盛山 別利	伊地知正輔	田尻 武次	中野徹太郎	本田 廣二	安藤 正次	和田 寅吉	妹尾 精一	松井 季勝	伊藤幸太郎	守屋 福市	千葉輔三郎
島田仁三次	齋藤 末吉	内藤 義男	野村 堅	関 定次郎	横尾 清	鹿島久四郎	三浦 弘一	葛西 萬司	伊東 知也	久能木誠一	辻 櫛
河合 勇	小杉 寛	飯塚 半衛	武信由太郎	辻村 直	土尾 寛通	村上清一郎	清水安次郎	宮川鐵次郎	岸川 幸夫	大友 行幸	伊野部利吉
板倉松太郎	河野 慈	田中孝一郎	衣笠 醇	武藤 安雄	松下保次郎	三谷 昌信	小室 静夫	田中 穂積	岸田 常吉	橋本 平作	廣見久太郎
野口 尙一	三輪吉太郎	石澤 愛三	中川 末吉	川久保光正	中西 順二	八田 俊吉	田中 喜一	藤田蔵七郎	山本 二郎	辻 千三郎	平澤兵之助
山縣 昌一	高地安次郎	植村 郁	川崎 新吉	堀川 安雄	桐山 均一	久松 定省	林 季彦	野津武之助	西川又二郎	柏原 要	吉村 正彦
伊藤 利時	齋藤 利一	藤田 利功	水野 治助	相良 常雄	佐々木頼邦	渡邊 寅治	増田 義一	武藤重太郎	齋藤 龍一	藤井 英藏	谷田川元保
落合 泰	磯山愛一郎	高坂久太郎	中澤 權藏	古殿 基	中島 徳行	喜安徳太郎	日高 只一	鈴木 文元	原田 壽男	風里谷五郎	田 篤
中島 忍	關口 七郎	清田 玉吉	宇田川政吉	山本 愿太	重友 芳夫	長尾 文雄	澁澤 元治	八田 泰輔	宮川 恕	山口 武	丸田喜一郎
松下 操	有田 周二	渡邊代五郎	井田十二郎	高津 季政	金子 實雄	富永 一郎	佐藤 功一	稻田 直道	横田季六郎	和田 利彦	笹本 房吉
磯邊倫一郎	森 輝次郎	佐治 敬吉	小俣康太郎	阿部又三郎	湯淺益三郎	須田 嘉男	河合 匡	豊田 俊助	齋藤 捨藏	島田徳次郎	飯田新太郎
服部 禎輝	朝河 貫一	松家徳次郎	高橋 彦重	山中 鐵	富田逸二郎	岩谷豊太郎	吉田 眞三	吉家 敬造	藤田 春吉	博谷 繁一	梅田 清
玉置 定彦	山口 清一	原田 雄次	大塚 彦治	大西進八郎	關 善實	小林 正勝	桂 五十郎	福金 次治	三枝 祐介	星野新八郎	

岩本 堅一	山形吉太郎	遠藤 英吉
早川 了祐	木下 茂	吉田 秀人
杉本 光治	高橋傳三郎	萬年虎貴智
武井 正房	川合 政雄	二上 德藏
岸 好一郎	渡邊 利用	高橋 八郎
長谷川 匡	根本 齋	田村 基
宮城 正明	大岩 誠三	矢田 芳造
齋藤忠太郎	堺田 顯次	牧田清之助
小野 俊三	竹内燭三次	渡邊 漸
出雲井忠朝	高木真木彦	高島 長之
酒井長四郎	喜多 三郎	高木七五郎
豐田憐太郎	福田 龍一	青木 俊治
宮垣龜之助	宇佐美友次郎	朝賀 忠勝
佐藤 光彦	中村 有一	小江 利得
三宅 盤	岡野 正男	渡邊 任
積田 文藏	末高 信	田中 仁三
田村 鼎	栗原 松三	金親 潔
巖谷 冬生	池田銀次郎	橋 靜二
近藤菊之助	普光江 隆	揚 小三郎
倉田信次郎	明石 一夫	久米伊與太郎
田中 保男	伊東 忠太	吉田嘉市郎
稻垣 浩	後藤 慶二	坂本 玉一
矢田彦太郎	野並 龜治	勝 勉
金澤 柳壽	山崎 直三	小久江真雄
尾崎義三郎	松岡 義正	星野富士之助
吉村 鷹夫	原野鏡太郎	川崎 宗義
柳原文右衛門	羽木 貞雄	高木 光教
伊野 賢造	水野盈太郎	田中喜太郎
三宅雄二郎	渡邊 吉郎	田中 秀穗
上野 武治	鈴木 兼司	杉浦 秀雄
今井 幸吉	渡邊 琢麿	内野 忠孝
本儀 太郎	藤井 九郎	志義 成保
村上 松藏	吉澤 清藏	植木 坦
野崎 善雄	關尾 正元	林 泰造
大岡 胖	水野 三治	神田 三平

兼田 秀雄	松宮 三郎	鬼頭申之助
高木 武雄	栗屋 精一	太田 平輔
筑紫 富雄	森矢 懿譽	牧内元太郎
福永 宣吾	永山 定富	堀 榮助
佐藤 善郎	霜島幸次郎	甲藤 長榮
鹿野 直司	平戸 大	下條 親雄
市倉 兼吉	長谷川誠也	三澤 正作
鶴巻 勇	服部文四郎	原 幸平
工藤 達一	一戸 直藏	吉富 令藏
齋藤 隆夫	内藤 久寛	舟木 重雄
島崎 春樹	淺野 應輔	山田 俊雄
北浦 重之	上野 景明	橋本 和吉
木村 久一	朝倉 龜三	森 春吉
安田 忠雄	大津山丑雄	坂倉準四郎
政尾 藤吉	高田 勇雄	南部 正寛
杉溪 言長	三好 貞雄	小林龍治郎
杉本恒之助	山本 拙郎	瀬田 武
鈴木芳五郎	馬場恒吉	戸田 盛貞
木田 親二	武市 彰一	内田 永真
加賀美治兵衛	富田 清喜	柳田 浩平
角田 正夫	山田 正世	高橋 謙三
猪俣 泰作	横田 信儀	大宮 正雄
辻 徳四郎	高田兼太郎	後藤 房吉
吉岡 正夫	岸川 長作	松谷安太郎
鶴田 正雄	中村泰太郎	上川 秀吉
瀧川三郎	角取 康榮	志村 眞澄
會田 彰誠	伊藤農夫雄	安藤 正純
石原 修吉	多田 憲一	川村 三郎
戸田徳之助	武田 禮堂	山田 末吉
宇田川清兵衛	高瀬 孝仁	金子 健八
松井 敏	内藤 眞温	岡田 公輝
田中 藤吉	酒井 谷平	竹内 松治
松岡清太郎	楠山 正雄	喜多壯一郎
村田 最一	高桑 駒吉	三井 周二
小池 觀	佐々木五郎	岡田常太郎

鈴木 寅彦	川村 純藏	辻 一郎
新井 忠吉	牧野 輝智	市野 博
中島 毅一	海老塚進一郎	寺田 義照
荒木 孝平	福地 福次	太田 永吉
鈴木 常吉	土屋 徳次	加藤 幸吉
青木 浩	森 武夫	田中謙次郎
西松 唯一	能島 通明	鈴木 保市
松平 頼壽	徳永 代一	恒川 歳助
上野 索	岡部菊太郎	柿沼 滝男
瀧澤 又市	大濱忠三郎	大庭 辰三
横山 八郎	小松 晋助	鈴木 雄治
尾崎 義兵	石川 了吉	横山 琢勝
松本 宗隆	奥田 源三	千阪 保臣
石津 美基	島田 豊松	板倉 勝顯
關戸 信次	戸塚榮之助	大谷 守治
團野 新三	陳 國 權	尾見八百介
増田 賢一	深井 英男	飯塚與三郎
野村 洋三	小島 英之	海老嘉右衛門
三崎 正毅	櫻井 省三	佐伯 妙智
江澤 欽司	芳林 登	服部 盛
倉兼 謙吉	生駒 晴吉	勅使河原彦十郎
尾關 光藏	武者 金吉	橋本 善一
谷野 治越	鈴木佐平次	川村八十雄
永井 勝造	早川 純一	中村 享一
高須 安一	中田 勸	石垣猪之吉
檀 廣樂	森島友三郎	中村 益平
篠塚次郎	山本 義之	栗栖 末人
桑原 淳賢	上原 鹿造	住田龍太郎
小林友太郎	黒川 九馬	池田作四郎
水谷 弓彦	前島 彌	立花 龍藏
福味 文郷	菊池三九郎	眞野 兵治
瀧田 眞敬	宮井 安吉	佐立 忠雄
稻藤義太郎	中島利一郎	高杉 瀧藏
中野 勇平	山本喜久慶	田尻稻次郎
	日比丑三郎	上田 勝

野村 半平	弓削 森光	會津 八一
竹田 熊吉	信夫 淳平	佐野 志郎
西川光次郎	堤 潔	市川 繁彌
小倉 房藏	山田 義一	田戸 茂八
渡邊太三郎	二上 兵治	笠原慶三郎
木内辰三郎	鯨井恒太郎	明渡智瑜太郎
田村 全宣	山崎 眞	金子 馬治
立花 寛篤	増田藤之助	前田 實
藤澤安三郎	(以上)	
一金園圖宛 下半年維持費(八月末迄ノ分)		
八幡 恭助	園田 格	水野盈太郎
井上 龜六	金子 寅雄	荒井 歳治
佐々木五郎	佐原竹次郎	石谷傳兵衛
宮澤 恭亮	小野虎之助	鬼頭 英逸
中川 重政	永江 清	鬼頭申之助
柴谷 龍寛	野澤彌太郎	内野 忠孝
池上止四郎	西村 清一	鈴木 雄治
半田 義雄	橋田 肇	石川 金吾
岡村 順一	今川 鎮夫	板倉 勝顯
橋本 清吉	菅原 又次	關 松朗
水野 治助	石井茂兵衛	太田 平輔
堀 榮助	小原 純一	陳 國權
柿沼 達雄	松谷 久一	植木 正一
武田 尾吉	牧内元太郎	服部 盛
村田 榮	鶴田 秀夫	有田 周二
江澤 欽司	小松 晉助	岩本 堅一
深井 英男	芳我 登	大島 親貞
青木 俊治	櫻井 省三	牧田清之助
鈴木 清六	森 武夫	近松 勝次
小江 利得	住田龍太郎	樽谷 繁一
高木七五郎	前田 彦藏	山口 武
志茂 成保	吉岡長四郎	根本 嘉
栗本 吉松	島田 豊松	矢田 芳造
松井 秀勝	角取 康榮	石尾信太郎
平野 高	内藤 義男	繁野 珠城

濱島 精一	松宮 三郎	福田德太郎	須田 嘉男	石附慶太郎	坪内 七行	村井 五郎	吉村 慶夫	栗山善之助	三上徳三郎	齋田 清喜	市川 正爾
高崎順一郎	大槻 音松	川村 三郎	山中 光	尾崎 銛	大澤 定正	日比貫三郎	小柳 寛一	木本 守治	生方 貞一	岩井樹太郎	清水 八郎
伊藤 基	山崎 寛猛	小山 三郎	大内 進	杉本 光治	藤田 忍	白井 榮壽	太田 榮吉	久世 敏吉	梅田 清	松山忠二郎	大畑源一郎
吉村 正彦	山路虎之助	田戸 茂八	重松 實	細谷一太郎	齋藤時之助	近藤菊之助	五十畑和三郎	和田 善次	石原 修吉	濱口 麟藏	大澤 一郎
石田賢一郎	若林 成昭	淺岡 哲	倉田信次郎	小林豊太郎	横山脩三郎	寺田 茂照	戸田 盛貞	横澤 正督	村上鐵太郎	伊達 保美	神尾 錠吉
西川 六郎	加藤 幸吉	金子 柳藏	木下 茂	中野 松彦	池田銀次郎	杉坂 源清	梅津 庸	高田 勇雄	飯田新太郎	相馬 愛藏	市村次郎
青木 俊明	岡田常太郎	新井 忠吉	星野新八郎	喜多 三郎	加藤松四郎	加藤敬三郎	田中 藤吉	兒島 富雄	宇田川清兵衛	高木 光教	藤田莊太郎
田中謙次郎	絹川 太一	柳原 玄龍	和田 利彦	宮澤清三郎	山野井翁三	林田源太郎	倉島 一郎	大神 善吉	竹本 唯二	岡野 孝吉	大隈 信常
鈴木 保定	宅佐美眞造	清水忠次郎	鳴原 貞	大倉 隆一	大島 正一	喜田壯一郎	青木 謹吾	渡邊雅之助	高西 淑次	水谷房次郎	三枝 守富
小穴 秀一	弓削 要	山本敏太郎	西川又二郎	荒木 順三	柳原 博	荒川 敏雄	鈴木 瀨平	田中 傳太	日下 仲藏	田村 三治	鹽澤 昌貞
森 美夫	木村 久一	平井 秀	都倉 義一	櫻井幸三郎	伊藤佐久良	高村 曠一	野呂 五夫	矢崎 五一	伊東 三郎	武田 禮堂	辻 千三郎
平澤平之助	三淵 忠彦	清水徳太郎	大澤 慶作	佐久間小一郎	山口 達	村田 最一	角田 正夫	保科 孝一	飯塚 新藏	伊藤農夫雄	溝口 直枝
松本恒之助	豊田 謙助	田中 保男	羽田 智證	西脇六右衛門	倉 正榮	江口 信市	前島 平藏	佐々木 瑛	遠山 二郎	三井 周二	上井 磯吉
生島 勝一	川本九右工門	堀切善次郎	中橋徳五郎	小川 幸衛	高橋 彌助	石井久太郎	齋藤 龍一	橋本 和吉	内藤 田仲	田中唯一郎	岡田朝太郎
北澤 武男	長谷川千代松	重友 芳夫	吉川 仙藏	柳原文右衛門	井關十二郎	藤井 英造	齋藤 隆夫	岡田 爲吉	吉田源次郎	木山 十彰	尾上 八郎
磯野 菊一	田中喜太郎	安井 盛三	宮崎 良治	逸見季次郎	平松 市藏	菊地 悟郎	西川吉太郎	伊藤 大遷	立石 謙輔	小久江成一	西松 唯一
阿部又三郎	荻島 遠	馬場定四郎	小島 義正	津田信太郎	伊東 五郎	黒田 政吉	原 嘉道	新井智三郎	田中 喜一	栗原 一平	五十嵐 力
山川 瑞三	松田 清	佐藤 政一	高羽 國良	山形吉太郎	島田延次郎	好地昇之助	瀨田 武	鈴木幸太郎	笹 克彦	瀧川 三郎	内ヶ崎作三郎
長濱信太郎	田部 信秀	河合 清	田淵 好平	日比 重順	鳥江 爲之	武市 彰一	岡田 政司	早川 了祐	間瀬 直一	吉澤 清藏	中野 武營
林 公行	三堀 寛	橋本 眞藏	齋藤 恒助	三輪善太郎	中江 爲之	杉田 駿	森 吉三郎	早川 徳次	藤井 麗三郎	水上鏡治郎	松平 頼壽
吉富 直純	岡崎 幹雄	田中 秀穂	東郷 彪	風里谷五郎	堀江 嘉平	瀬戸 佳六	岡田 新一	井上 忻治	久松 廉吾	横井 春野	辻 徳四郎
三浦 弘一	佐野 昇六	清水彌太郎	大島居弄三	川添 恭造	木村 武一	辻 櫛	西村 新助	石田友三郎	松平 康國	大西孝次郎	中西 用徳
江副 貫三	田尻 武次	坂齋 道一	川合 政雄	山本 二郎	一戸 直藏	龜井 齋平	竹林磯次郎	八橋徳次郎	萬年虎貫智	富島 綱男	高桑 駒吉
先光 孝	小野 俊三	山田英太郎	山口 剛	上原 精一	鮫島 武二	寺田 鏡治	中山 忠直	佐藤 恵雄	松井 敏	小山 温	矢津 昌永
村田 貞次	八田 俊吉	中野禮四郎	吉村 繁俊	中村登利三	金子佐一郎	江藤 哲藏	武田 精三	佐久間庸一	山田 胖	中原 眞一	高瀬 孝仁
井上 仁	柿内 照康	玉置 鄭次	内藤 眞温	中村登利三	三好榮次郎	島田 武夫	金澤 柳壽	大橋 誠一	尾關 光藏	淺田 祐介	小林 正勝
渡邊 虎一	高橋傳三郎	森島友三郎	勝 勉	大貫傳兵衛	富田 通敏	戸田徳之助	印牧 順作	長谷川正光	下村清三郎	中村 萬吉	黒田善太郎
木内義太郎	増井増次郎	武井 正房	中村 有一	政尾 藤吉	高田兼太郎	服部 禎輝	宮崎八百吉	磯山愛一郎	木村 眞平	中野徹太郎	松下 操
鷺津貞二郎	立川勇次郎	岸 孝一郎	二木 千年	杉溪 言長	竹田 房次	田澤 康民	原田 壽男	倉田 隆介	根良 常雄	梅若誠太郎	山村 涉
鈴木治三郎	石井 新一	及町 茂作	小倉 房藏	草野 繁	大橋爲次郎	横内 信重	宮川 恕	淵川忠太郎	辻 一郎	鈴木 孝助	堀江 溯
片谷 傳造	松尾保三郎	篠田 惠作	渡邊太三郎	今 逸郎	山田 正世	向井 兼徳	小松 林藏	小林利十郎	村上清一郎	津田左右吉	花村 鋼造
安藤 金平	中野 正剛	島崎 尙	澁谷 三	大沼十太郎	瀨川 先行	川崎 新吉	關谷繁太郎	藤村徳次郎	岡野 正男	昇 直隆	瀬戸 義直
河合 勇	日比 得三	奥田源兵衛	田中 太吉	松谷善三郎	岩堀 智通	野口 喜一	葛西 萬司	藤村徳次郎	田 篤	横田 吉人	島山 秀松
堀 健	上田 榮吉	種村 宗八	八木 實	武藤 義治	井上半三郎	立花 隆藏	宇佐美佳治	垣見 齋助	久間 九郎	市川 博	關口 九郎
稻垣 壽	矢野 芳	酒井 谷平									

濱川 是勝	伊澤 啓	本田 親二	橫關 愛造	澁澤 元治	杉山 令吉	依田 彌助	瀧澤 又市	柳田 浩平	夕下 有	青地雄太郎	星野 治作
園城寺松一	小林 四郎	堀 維孝	佐野 昇	遠藤 又藏	佐々木四郎	尾見八男介	野口 尙一	久米 邦武	早川 有三	黒川 清	村山 欽治
島山 一清	霜島幸次郎	高橋 一	鹽田 修吾	渡邊 寅治	渡邊丑之助	石澤 豐三	岡見 慎二	有馬 重男	吉田 干穎	兒島俊之助	石井 政吉
淺野 應輔	熊崎武良温	宇佐美友次郎	笹本 房吉	永谷武右衛門	近藤 靜郎	伊藤 康安	三井邦太郎	野々口寅雄	渡邊 亨	小崎 桑吉	竹本 宇吉
内藤 久寛	舟木 重雄	吉田 靜致	中川 次郎	皆川 殿	増田 義一	對馬 謙尙	永井 彌彦	高原 英三	吉田 弘	網島 堯	金子 武
大友 行幸	谷野 治越	倉敷 定	男全 龍三	三宅 晃	岡澤新太郎	池田唯之介	鈴木 桑作	松川 綱	衣笠 醇	奥岡 喜藏	伊東 知也
橋本 平作	戸水 寛人	牧野 鑑造	山田 清治	中村 祐家	宮崎 洋吉	木村芳太郎	人見 修藏	中島利一	芹川 幸夫	市川 繁彌	武藤重太郎
上野 景明	大屋 敦	福原 俊丸	高信 孝治	森 麗山	高倉 盛光	橋 靜二	篠原 彌吉	藤田 春吉	壺河 卓爾	佐立 忠雄	小島井紫郎
小室 靜夫	井上 友一	今 和次郎	三木 武吉	田中 瑞仙	仙臺岩太郎	野本福太郎	柏木 宗治	宮本 俊三	佐藤 三郎	大塚 民明	望月 政三
大西進八郎	昆田文次郎	神谷祐一郎	牧 眞言	荻野元太郎	大野 禎	黒田 保次	山口 清一	吉富 令藏	野村 半平	影山 清雄	菊池三九郎
吉川 收	鈴木喜三郎	吉川 秀人	笠井寛太郎	倉住 覺藏	河野 伸介	青木 浩	山田 末吉	荒卷 繁藏	宮井 安吉	板倉松太郎	椎名 幸助
長谷川 匡	田村 柳吉	神谷 信義	庄野 信治	山本恒太郎	小澤 一	宮田 誠	秋元 平八	齋藤佐次郎	小島 七郎	別宮音五郎	鹽津猪十太
杉山 治雄	久能木誠一	朝野 秀二	清水 正範	長谷川 進	降旗 音吉	石田 文治	鈴木德太郎	立花 寛篤	佐々木護邦	明渡智諭太郎	木口 重彦
鈴木 伊十	福田 龍一	伊澤 義禮	金子 從次	山崎 眞	安西於菟彦	若杉 勇	鍵和田良平	武石弘三郎	岡見 謙吉	中村道四郎	犀川 長作
原 達平	橋 山人	吉岡 正夫	高木 岩吉	三好 七郎	大谷 三郎	八杉 貞利	松山 二郎	淵田 忠良	安清 正之	高木守三郎	鈴木 寅彦
廣瀬 耕治	稻津 秀光	柏原 要	山本 壽彦	星野 宗一	廣政 幸助	桑原 淳實	山本久太郎	中根 正俗	村上 濱吉	松岡清太郎	山本喜久廣
中島 德行	酒井 龜治	築瀬 清太	高山喜代藏	新川 長藏	山本 治郎	久松 定省	青柳 隆治	原 安三郎	馬淵 清	天海十四郎	釘宮 極
吉田嘉市朗	永井 一孝	武者 金吉	永尾 文吉	貴虎孟太郎	長尾清一郎	水崎 保	塚越孝次郎	丸田喜一郎	中島 初次	山口 巖	湯淺益三郎
坂本 玉一	勝俣銚吉郎	白石甚右衛門	志賀 重昂	信夫 淳平	栗屋 薰	河野 美雄	磯 信夫	櫻庭 達堂	仁村 萬司	西尾 才助	徳久 武治
豐田 大警	甲斐 秀雄	吉川 利一	尾崎 義兵	關戸 信次	岩井 貞治	鈴木 浩之	松本 理一	中川 末吉	萩原 秀雄	梅原富之助	杉浦 秀雄
牧野謙次郎	岸 節造	松井 等	池田 三平	大河内隆弘	山崎 直治	田坂 誠三	志賀 定一	小野友次郎	橋本 善一	瀬田 麟一	磯谷幸次郎
前田 實	桑木 殿翼	金子 馬治	松田 臻	森 源作	鈴木 保	板橋 啓三	玉江 文雄	永野 榮助	小川小三郎	齋藤 功	志水 東男
草野豹一郎	村上 謙吉	山岡 敏二	舟橋清一郎	山口 榮吉	三宅 磐	森村市左衛門	足立 等海	林 良夫	小俣康太郎	河部 泰雄	田中孝一郎
北村氏三郎	久保 次郎	堀田璋左右	橋 繁三	小野 敏郎	朝田 惣七	平沼 藤八	橋戸 教義	横井 順造	川上 親利	中山 木麿	三村 五郎
桂 五十郎	伊東 忠太	岡崎 正見	宮城 正明	三崎 正敬	松木 宗隆	小木 植	富永 三省	藪 重三郎	松江 房次	黒川兼三郎	井口 誠一
安達 和雄	神谷 健夫	河合 匡	小寺 敬孝	岡部菊太郎	堀谷左治郎	上原吉太郎	萬里小路元秀	笠原慶三郎	天野 龍齋	古谷野喜三郎	松村 増男
廣瀬 濟	松岡 義正	二上 兵治	大濱忠三郎	芦田 正友	小島 英之	林 行彦	野上卯三郎	佐竹 元輔	島崎 春樹	畔柳郡太郎	日根 周二
後藤 慶二	山崎 直三	野村 堅	小岩井貞夫	田中 清治	群司 健男	徳永 代一	山地 保	懿 大象	尾崎義三郎	森田 音山	水野 勝一
森矢 懿譽	末高 信	佐野製蓑美	酒井長四郎	三浦 巖	高島 長元	原田 忠雄	磯部倫一郎	高原 昌隆	鈴木茂三郎	坂本 武彦	堀 音吉
楠 茂市	兼阪 中	上遠野 栗	串戸眞佐樹	小野 俊三	豊田隣太郎	伴野 賢造	鈴木 音次	安藤 正純	藤田 耕平	渡邊 春一	伊藤 燭門
高橋都素武	久米伊豫太郎	中原 望繁	石原 謙	並木覺太郎	川上 勇	山本 憲太	渡邊 猶作	上遠 三郎	宮垣龜之助	廣瀬作三郎	倉橋 潔
野崎 貞逸	安藤 正次	朝山勇四郎	増田徳三郎	稻垣 浩	荊木 誠三	村田 健次	堺田 顯次	瀧 清	瀨戸 介爾	山本 稔	大谷 守次
庄司格次郎	太田 周平	明石 一夫	木村半之助	渡邊 忠恕	高橋 眞一	荒川 潔	谷口 守雄	北浦 重六	岡戸宗七郎	大東直太郎	川原田政太郎
竹内彌之次	芳賀 榮造	松下保次郎	北澤新次郎	中村 益平	野尻 正英	守屋 福市	矢橋 順三	登阪宇之一郎	江藤 玄三	大古田要一郎	齋藤 舜榜
田村 昇	片山 雄吉	松島 肇	佐竹 龜	淺野謙次郎	二見 仙平	守屋 福市	矢橋 順三	登阪宇之一郎	岡田 虎雄	柴田 俊夫	志賀茂次郎

百瀬 善重	谷崎善三郎	永山 定富	萩窪 潔	北澤 義男	島田 圓成	岡田信一郎	岡村 千曳	本多淺治郎	野村長太郎	小澤 巖	大沼 齋一
島津 久賢	松永 安勝	徳永 貞通	揖斐 四郎	廣惠吉久雄	森脇 美樹	古賀 光太	平沼 淑郎	田中 穂積	伊藤 富藏	宇部宮 昇	奥澤福太郎
犬飼 健藏	齋藤和太郎	早速 整爾	豊田 俊助	三宅 淳平	千川 才作	重城 康三	田中 周衛	吉田 真三	會田 彰誠	濱島 利重	吉本 正也
浦野 元俊	早川 純一	中田 訥	椎尾 辨匡	米山 清三	萩野萬之助	武信由太郎	立川 長宏	武部 欽一	小鹽 美道	土屋 卓三	工藤 彰
宮武 蜂次	水谷 弓彦	峯尾 忠作	楠山 正雄	河出 源一	長田 幹彦	高谷實太郎	中桐確太郎	前橋 孝義	捧 行憲	生田 七郎	大串 三夫
遠藤宮次郎	伊藤 充邦	若林 亮	長澤 倉吉	廣田 光威	入澤 峯太	山田 三真	山岸 光宣	矢口 達	福邑 義生	稻田 直道	西 一郎
島居 憲吉	森 秀雄	上田 勝	野口專太郎	喜安達太郎	清水 時松	稻光 謙三	服部 嘉香	大橋 敏郎	塚越丘二郎	五代 竹夫	深川 清英
石野 彰	荒木 正紀	三好 貞雄	桐山 均一	新見 敏樹	志賀 常三	奥山 一雄	川崎 宗義	岩井 武雄	三輪桓一郎	志水 直彦	關野 九郎
島山 憲吉	矢崎豐太郎	佐々木庄次郎	近藤泰三郎	安藤 喜作	諏訪 剛雄	三枝 祐介	田村 金宣	相良大八郎	金原 省吾	大崎喜代作	石川 頼一
小山 谷藏	伊地知正輔	水野 良高	徳永 眞鑑	大森金五郎	中島半次郎	山田 清作	金森 諳道	坪谷 忠三	宮川 庸三	養島 亮	鳥海 岩松
北原 種正	小金龜次郎	坂口 鎮雄	安部 磯雄	小林 賢三	高塚 康平	杉中 種吉	遠藤 敏	荒井 鶴松	山本 忠俊	藤川 年	岡田 公輝
原 隨園	近江 匡男	松澤 禮三	多田平治郎	寺尾 元彦	柳川 勝二	山本 壽吉	山住於儀人	井上 武夫	井上辰九郎	神田 匡平	岡田 公輝
氏家 齋	福田辨治郎	西岡竹次郎	伊集院 猛	岩下 天年	新倉 孝造	林 元一	増山外三郎	高野 清	猪俣 泰作	三輪 清吉	江上志雄
牧江 三省	入船 勝治	遠藤 太郎	三原 武人	吉村 慎一	生駒 晴吉	土居 寛通	松田 知之	山本儀太郎	金子 健八	杉田金之助	森下岩太郎
古塚 正治	薄井 福治	時岡從太郎	定全右源二	上倉三之助	福原雄之助	ベニノホフ	橋本 増吉	中條真二郎	沖 作治	近藤宮次郎	市島 禎吉
山本 文雄	川口 健藏	松浦誠一郎	海老澤了之介	堤 康次郎	伊東 秀壽	森本 繁雄	野澤武之助	高島益之助	西川善太郎	水野 憲	武本 康一
原田 雄門	鈴木要次郎	奥野 匡一	小出範治郎	山名 義高	大江乙亥門	伊東長三郎	山口 彌六	高島益之助	肥塚 武治	田中了三郎	三谷 昌信
上田 大助	濫澤壽三郎	高木 季男	岡野 董	齋藤 末吉	吉田 博雄	柿崎喜代治	村井清太郎	加賀美治兵衛	新保政太郎	星野辨五郎	大久保清志
三宅 清藏	櫻井 重雄	柴田 義久	齋藤鶴三郎	三島 真藏	伊東元治郎	鶴田 輝夫	慶本 莊民	小林 平治	伊東秀之介	武岡 元	村田 修二
安藤 仁隆	勝田 加一	渡邊 吉郎	佐藤 伍郎	黒川 九馬	樺島 信福	簡井 勇	大磐 誠三	植村 郁	石原 康平	朝會 龜三	小川兼四郎
杉 八郎	岡 成志	村山善一郎	山本 義立	片山 利久	樋口 輝三	菊地彌三郎	村松 武夫	渡 干城	弓削 美光	高木 武夫	中島 義應
福田 喜孝	中野 鐵平	高野 進一	鈴木佐平次	野村徳治郎	清田 玉吉	山中 鐵	古川 忠治	鈴木 文元	山田 敏行	野崎 善雄	高橋 信爾
眞藤 虎一	平井 勝茂	木村 篤二	清水 政吉	横山壽恵雄	里村 磯吉	室 七二郎	渡邊代五郎	長谷川島太郎	淺野 賢智	我謝 秀裕	平塚周一郎
藤森 茂男	大岡 胖	升田 茂	平田 象三	田中四郎左衛門	里見春次郎	中野準三郎	長沼 正文	民野 雄平	下條 親雄	中島 泰藏	土屋 寶造
今西 謙也	川井 榮一	渡邊 五郎	中野 正夫	徳永 重康	織田 寛	松本 容吉	小林 行昌	高地安次郎	千阪 保臣	田島 一郎	今井 幸吉
木多 助信	佐藤 功一	馬田 行啓	山崎於菟男	氏家 謙曹	吉田 享二	仲宗根支愷	桑原 重矩	萩津 賢重	太田 憲秀	木村 福藏	小林 邦藏
岡山 眞平	肥塚 騏一	高島 亮一	柿沼 字作	久貝 弘勝	山内不二雄	脇田 朔一郎	村山 昇藏	高谷 文内	海老塚進一郎	勅使河原彦十郎	上野 素
大塚 運次	三宅雄二郎	南部 正寛	落合 泰	辻川 潔	川村 久輔	小野 雪江	石田 秀一	福味 文藏	福地 福次	加藤福太郎	増田 賢一
佐藤 碧	松原小一郎	櫻井兵五郎	小泉 一雄	村上 松藏	上林行一郎	内海 汎	金子 義隆	藤田 貫治	齋藤忠太郎	山澤 俊夫	後藤 房吉
三雲 辰雄	宮田 脩	中村 進午	二階堂行善	内田七郎治	松本 茂雄	六角字太郎	和田 寅吉	恒川 吳作	山崎 喜作	高崎 太平	大宮 正雄
龍口 誠信	妹尾 榮治	今泉 丈吉	佐藤 渾	島野 金吾	長瀬虎五郎	木原 三	井上 忠一	山下國太郎	甲藤 長氣	恒川 歳助	春藤作之助
齋藤 泰三	川久保 正	立川銀二郎	柘植 曄	岡田 淳司	辻 同次郎	森 六郎	輪湖 正由	丹尾磯之助	川村八十雄	横山 琢衛	佐伯 妙智
東儀 委治	中山輔次郎	神田 正雄	佐々木一延	吉武 巖	三宅 隆一	濱口 范一	會津 八一	小川 波平	片山 義行	熱田 助	大沼銈太郎
田坂 眞雄	嵯原 詠二	京田 武男	山本市真次	織田 隆	溝口 信	市川 又熊	須賀 憲二	都丸 隆	上川 季吉	渡邊 漸	植木 坦
金井 悌藏	坪谷善四郎	草村 松雄	藤田 利功	山本眞次郎	岸本能武太				小林 福治	村田本二郎	栗原 雅信

海老塚嘉右衛門島崎 一郎	朝賀 忠勝
山下 清一	松谷安太郎
原 富太郎	菊池 松壽
伊地村季繁	田中 仁三
國分 義一	玉置 定彦
瀨山 清通	中澤 權藏
鷹見久太郎	矢田彦太郎
佐治 敬吉	三井 道男
小笠原均一	北村 淑人
深澤 政介	平岡 伴一
都築 等	奥田 源三
岩田豐之助	高木 隆吉
關野 新之	森本 宋
金 茂吉	知野櫻好雄
馬場 恒吉	關口吾一郎
淺見金三郎	森 春吉
松谷 徹	横山 賀則
猪俣 勳	長谷川謙一郎
前田 一	樺 強祐
柿本 榮	小澤 一雄
池田武次郎	上遠 武治
關口 壽一	西川光次郎
竹田 熊吉	飯田 博二
室津 市郎	飯島 治次
能島 通明	矢吹 悌悟
池田作四郎	新谷 贊
氏家 正	川村 純藏
宮島 文藏	武藤 剛
福田 光藏	星野 剛男
飯塚庄三郎	上條 若丸
河原 三郎	柏 房五
町田 忠治	池田 龍一
浦邊 襄夫	林 末三郎
木村賢三郎	竹上六三郎
成富公三郎	濱口 樽
	山本 榮藏

中島 毅一	荒木 孝平	沼淵 政藏
原野鐵太郎	大澤山丑雄	小山 愛司
村山駒之助	竹村 佳康	栗屋 忠夫
森 壽一郎	大塚傳三郎	小松崎吉雄
森田 明義	後藤 信治	木村 常達
島田 鐵吉	大山 眞	大宮 光男
小平 末雄	小田 岩藏	細川 濟
眞方 敬一	前田 多藏	宮川鐵次郎
横山 有策	牧野菊之助	三浦 辰二
原科 茂作	上領 三郎	小久江眞雄
湯湯 泉	野崎 信幸	西村 眞次
柴田 忠徳	坂本 時雄	松岡 孝一
手島榮治郎	藤原 忠吉	村澤 二郎
横山源太郎	豊田 實	井口龜三郎
曲山 公平	山口 成孝	竹村 孝輔
高田 俊雄	岡崎 直樹	金澤 孝治
大原 晴雄	黒澤 政章	瀬下源三郎
松垣 新一	永井 清志	岩崎慶次郎
矢崎 豹三	佐藤 憲弘	大庭 辰三
島田 兵藏	三浦 順一	加來淡二郎
欠畑 文雄	城田鶴五郎	西村辭三郎
小原 啓利	山口 萬吉	岩崎 次郎
朝倉 希一	片岡 誠一	宮坂 庸三
香田 五郎	河野安通志	兵頭 直明
田中藤六郎	高原 政治	森田得二郎
梅澤 慎六	松田虎獅狼	橋爪 温
揚井 二郎	横尾 清	石井 吉藏
久山 順平	清水 孝藏	川口治三郎
木島 慎一	増田藤之助	鯨井恒太郎
八木 勤作	石坂 静一	遠藤 素三
三澤 富藏	金子 清	栗原 松三
堀田 正由	穴山 義次	普光江 隆
伊豆 富人	下宮 六郎	香川 冬夫
櫻山 四郎	片山 三郎	淺野泰治郎
八代 重夫	野間 五造	清水 覺夫

堀川 恒男	三吉友之輔	山田 節
池上 芳周	鈴木 常吉	恩田 恒男
里見 雄二	妹尾芳次郎	河野 憲
近藤清次郎	今橋 稔一	水口康太郎
森田勇次郎	伊藤 眞路	石井 昭貴
城所竹次郎	中島 行廣	村上 元吉
石野藤太郎	泉 直吉	副島 義一
淺川榮次郎	淺田 末茂	大橋 福松
瀧澤 永二	高橋 章正	佐々木一茂
午來 丈助	田中彌三郎	山田 敬三
稗田 三平	原 祐導	中村 吉藏
内田 喜雄	坂本源三郎	柿沼謙三郎
井汲 倉藏	松野 竹吉	江幡 達五
山崎 源吉	石澤久五郎	佐藤 唯一
崎田喜太郎	山縣 昌一	渡邊 琢磨
横田 秀雄	瀧田 潔	深江基太郎
沼尻 道利	山田 俊雄	宇都宮吉三郎
大濱龜太郎	關屋 正元	原田甚四郎
溝口 雷太	日向 毅	高須芳次郎
田中小太郎	佐藤善次郎	堀川 美哉
梅澤 忠治	朝倉幸一郎	木村 俊治
谷 新太郎	西山巳之助	中村常一郎
杉浦 啓二	浦野 廣作	中尾清太郎
蜂須賀豊隆	藤田 和夫	平田 職康
坂井田傳一郎	向山 茂次	多川 信治
江原 憲吉	栗津 清亮	杉山 重義
椿田 文藏	横澤源三郎	補元 芳熊
岩田 一郎	伊地知純正	コックス
安藤 忠義	片岡 久宏	山田 勝郎
大蔵 力三	瀨良 浪治	黒木 勘藏
谷 紀三郎	廣瀬龍次郎	杉浦 照次
菊地 謙讓	大森 音吉	菱沼 幸平
今村 與作	橋本 真市	寺岡 素
平田 眞一	井上 雅二	杉山 義夫
巴 利三郎	清水與七郎	中村 吉男

森 四郎	小田内通敏	和田垣謙三
土屋 詮教	竹中 二郎	大石 敏三
町田 政	田川大吉郎	稻毛 金七
森山 木一	永井 勝造	小地 兼康
柏木 潤三	町田 歌三	藤本 慶助
林 季彦	西成 甫	小宮山 信
船木輛之助	佐藤甚九郎	馬屋原仙一
笠木喜四郎	長安 正夫	風間 力衛
若梅 縁	降旗元太郎	上原 鹿造
三浦 嘉重	飯田定次郎	高屋 三郎
小川 重吉	岩井 清水	鈴木 個
立石猪三郎	御國恒太郎	森本 一雄
青木 榮吉	吉田 謙二	鹽谷 久松
丸山 乾真	藤田 憲吉	中西 淳亮
河崎 清	澤村幸一郎	永井 助藏
坂本 三郎	紀 淑雄	岸畑 久吉
密田良太郎	山田松太郎	福島 久記
大澤 準二	黒田 止孝	佐伯 越夫
幸尾隆太郎	有川 正吉	飯澤 肥一
吉富 嘉春	小峰 操	長尾 文雄
高須 鐵造	鈴木 竹治	櫻井善兵衛
福永 宣吾	糸永 転平	安田 清雄
谷 富賀志	星野 久	中山 好次
田中八穂平	小林金十郎	林造酒太郎
紀伊 末雄	遠藤 隆吉	林 登未夫
多賀 富藏	木田 廣二	鳥山 悌成
八木 辰守	結城恂太郎	井上 孝藏
米澤 秀一	高橋 正次	細野 繁莊
石丸 正誠	松家徳次郎	筑紫 富雄
和田 一郎	三橋 久美	日高 只一
伊藤 鍋司	奥中 孝三	高澤 季政
小林友太郎	浦田 正名	田中 信
大瀬甚太郎	岸 元一	金澤 熊夫
米川勇之助	小松 徹心	内田 民部
千早 正寛	兼田 秀雄	(以下次號)

普く校友諸君に檄す

謹啓益々御清穆之條奉慶賀候陳ば我早稻田大學の事業も校友諸君を始め大方の深甚なる御同情に由り逐年隆昌に赴き漸次諸般の設備を整へて有爲の士を教養し以て聊か國家に貢獻する所ありたるは欣幸不過之深く感謝に堪えざる次第に御座候

然るに時勢の進運は駁々として一日も底止するあらず從て之に順應して更に諸般の設備を改善し廣く天下の碩學を聘用して益々學界に於ける本大學の權威を發揚し更に大に人材を造就して益々國家に貢獻せんと欲するには其根本的絶對要素として經濟上の充實を期せざるべからず乃ち曩に本賛助會を設けて汎く江湖篤志家の御援助を仰ぐと同時に校友諸君子の特別なる御同情に訴へ依て以て此際本大學の經濟的基礎を確立せんとしたる次第に御座候處幸に諸君子の深厚なる御同情を蒙り申込書日に相繼ぎ本學報前號以來發表致居候如く人員六百有餘名、口數二千一月十五日迄に垂んとするの盛況を呈し候段獨り本大學の光榮たるのみならず實に國家の爲め慶賀に堪えず深く感謝致居候次第に御座候

然るに之を本大學校友諸君の總數一萬三千有餘名に對照致候時は人員に於て其比未だ二十分の一にも達せず誠に遺憾に存じ候に付未申込の諸君子此際奮つて御申込の榮を賜はり候様茲に重ねて奉悃願候 敬具

大正八年二月

早稻田大學賛助會

- 委員長 伯 爵 松 平 賴 壽
 學 長 法學博士 平 沼 淑 郎
 總 長 侯 爵 大 隈 重 信

早稻田學報 (大正八年二月)

●正 誤

前號賛助會報告中五頁二段廿四行目
 小林林藏殿 とあるは小松林藏殿
 同頁四段十一行目
 荒川謹二殿 とあるは荒川謙二殿
 同六頁一段廿行目
 稻光謹三殿 とあるは稻光謙三殿
 の各誤植に付茲に謹で訂正す。

●正誤——本誌前々號十五頁一段二十四行目「式正治氏」動靜に就き、函館區末廣町二五、函館貿易株式會社に轉勤の旨記載の處右は同會社内同氏の事務所を設けられたるのみにて、同社とは何等の關係なきもの趣、仍て茲に訂正す。

文科校友懇話會

文科校友久々にて相會し懇談を重ね度候間御來會の程切望仕候

- 一、時間 二月二十五日(火)午後五時
 - 一、場所 永樂俱樂部 (電本 二三六 三八九)
- 成るべく晚餐を御一緒に致度御希望の御方は前日までに同俱樂部田村又六氏に御申通じ被下度猶時間等の御都合に依り食事後にても成るべく多數御來會の程切望仕候

發起人

- 長谷川誠也 宮田 脩
 片上 伸 中村 將爲
 伊藤 理基 加能作次郎
 原田 實 稻田 讓

大正八年二月一日

謹 告

近來郵便物の延着、不着等尠からず、當會より發送せるもの、貴着せざる場合あるのみならず、貴發せられたる申込書の往々にして當方に到着せざるものあり、爲めに高志を空する憾なき能はず候。當會にては貴發申込書を受理すると同時に其御好意を謝する爲め直ちに謝狀發送致し居候に付自今右謝狀が相當日時内に貴着せざる等の場合有之候節は乍御手数當會宛御一報被下候様願下度此段爲念謹告仕候也

大正八年二月

早稻田大學賛助會

- 定 價 一部郵稅共 金 拾 錢
- 廣 告 料 一回一頁金參拾圓半頁金拾六圓四分ノ一頁金拾圓

大正八年二月十日印刷
 大正八年二月十日發行

編輯兼發行人 前 田 多 藏
 東京市牛込區榎町七番地

印刷者 渡 邊 八 太 郎
 東京市牛込區榎町七番地

印刷所 日清印刷株式會社
 府下豐多摩郡戸塚町字下戸塚六百四十七番地

發行所 早稻田大學
 早稻田大學校友會

文學博士 根本通明 講義

刷縮論語講義

三五正郵 六百壹圓 函購參圓 入十餘錢 壹頁拾錢

此書もと博士の講義を速記して成れるものなれば、述義最も明快にして、親しく博士の警效に接するの感あり。本書に用ひたる經文は隋唐以前の古傳本にして、最正最古の者なり。今此經文に據れば、版本論語に幾多の誤脱字あるを知るべく、又誤脱本に據りて立論せる幾多の僻説あるを發見すべし。卷頭の古寫論語の寫眞、卷末の古寫本論語考、亦經學者の重要參考資料たるを疑はず。

刷縮名著

桑木博士著

刷縮哲學概論

(版七十) 三六判函入 五百四十頁 郵稅四廿錢

學の何たるを問はず深刻の研究を遂げんと欲する者は必ずや先づ哲學の大意に通ぜざるべからず。然るに其の大綱を明にすべき哲學概論に至りては流作極て困難なるが、本書の如きは幾多類書の間在りて巍然として傑出せるものなり。是れ其異数の好評を博し年と共に彌々其光輝を高めし所以なり。

島村抱月著

刷縮新美辭學

(版六) 三六判函入 五百七十頁 郵稅四十八錢

本書は全然著者の新見に成れるもの、文章論より入りて美學に歸結し、以て大方の批判を得んとす。且初學者の爲には、文學の入門たるべき準備と、研究の過程とを有せり。文字に志あると否とを問はず、國民の座右缺くべからざるの書なり。

嵐力著

刷縮新文章講話

(版七) 三六判函入 七百三十頁 郵稅四廿錢

本書出でてより十餘年、其思想と組織と用語とは廣く教育界其他の社會に採用せられ、我大小の作文書にして本書に基礎を置かざるもの殆ど無し。本書は決前生後の地位に立てる著述にして之を措きて我現在及び將來の文章を語るべからず。今や縮刷成り、添るに著者が作文上の経験を告白せる長編論文を以てす。敢て之を大方に薦む。

嵐力著

刷縮實習新作文

(版六) 三六判函入 六百十頁 郵稅四十八錢

實習新作文は現時の作文實習に關して決前生後の具體的説明を與へむとするもの姉妹卷たる「新文章講話」と共に著者が多年の眞面目なる努力の結果である。本書の主なる趣意は、如何にして古きを活かし新らしきを磨き上げべきかを示さむと試みたる所にある。

發行所 東京日本橋區本町三丁目早稲田大學出版部 (賣捌) 東京堂 北隆館 東海堂 盛文館 野其 (他)

早稻田大學學生募集

師範高等部		大學部				專門部	
英語科	國語漢文科	理科	商科	文學科	法學科	政治經濟學科	法律科
		理工科 <small>(機械電氣採礦冶金建築衛生)</small>		文學科 <small>(哲學英文漢學史學及社會學)</small>	法學科 <small>(獨法英法)</small>		
第一學年						第一學年	

○上記各科共四月一日(火)午前八時
學力考查評驗を行ふ。(中等程度諸
學校優等卒業生に限り無試験入學
を許す。但し理工科は之を除く。)
○入學願書は三月十一日より受理す
○授業は四月十一日より開始す。
○規則は郵券三錢封入請求のこと。

●機械、電工、建築一、二、三
●採礦、冶金、土木四學期
生徒募集 ▲授業開始
▲二月十二日

早稻田大學
附屬 **早稻田工手學校**

- 實驗實習機械標本等は早稻田大學理工科の諸設備を其儘共用す
- 尋常小學卒業者は第一學期に中學卒業者は第四學期に無試験編入す
- 電車開通早稻田終點より南方約一町 ●規則要郵券二錢 ●東京牛込

大正八年二月十日(毎月一回十日發行)

稟告校友諸君

拜啓來ル十六日(日曜)午後正一時ヨリ築地精養軒
ニ於テ春期校友大會ヲ開キ左記ノ事項ニ關シ御協
議申上度候間御繰合御出席被下度右御案内申上候
也

(會費金參圓)

- 一、大正七年度決算報告ノ件
- 二、推選校友ノ件
- 三、校友會規則改正ノ件
- 四、校友會幹事及評議員選舉ノ件
- 五、會長推薦ノ件

以上

追而準備ノ都合有之候間御來否共來十四日迄ニ大學本部宛是非御一
報相煩度萬一御通知無之御出席相成候節準備整兼候場合モ可有之候
ニ付御含置被下度候
大正八年二月十日

早稻田大學校友會々長 平沼淑郎

校友各位